

## も く じ

ごあいさつ.....	1
第12回大会.....	10
{	
第30回大会.....	38
台湾との交流の歩み.....	44

## 水俣市民競り舟大会 復活30周年によせて



競り舟30周年記念誌の発刊を祝して  
水俣市長

江口 隆一

この度、市民競り舟大会30周年の記念誌が、水俣市競り舟協会によって発刊されましたことは、誠に意義深く、心からお祝い申し上げます。

競り舟は、水俣の夏の風物詩であり、市民の関心も高く、スポーツ熱をわきたたせる勇壮な本市の伝統行事であります。

今回、市民競り舟大会は、記念すべき第30回目を迎えました。

顧みますと、昭和51年、水俣市青年団体連絡会議を中心に地元の若者たちによって、地域づくりの一環として、まちの元気を呼び戻そうという気持ちから、この競り舟大会が復活しました。これまで取り組んでこられた、先人諸賢のご苦勞やご努力に対し、心から敬意を表し、ここに改めて感謝を申し上げます。

この記念誌は、これまでの市民競り舟大会のあゆみを集大成されたものであり、スポーツで明るい豊かなまちづくりを目指す本市にとりましても、たいへん貴重な資料になるものと考えています。

ここに、同記念誌の発刊を衷心からお祝い申し上げるとともに、水俣市競り舟協会が、これを機にさらに大きくご発展されることを祈念いたしまして、発刊に寄せることばいたします。



水俣市国際交流協会

会長 摺津 隆 祐

水俣市民競り舟大会の30周年を心からお喜び申し上げます。

山下和彦競り舟協会会長をはじめ、30数年前から競り舟大会復活に情熱を注ぎ、献身的な努力をされた方々の感激はひとしおとお察し申し上げますと共に、敬意を表します。

今年は、台湾チームも加え男子35、女子9、招待3、記念招待4チームの合計51チームの参加で、今や水俣市の一大イベントに成長しており誠におめでとうございます。

協会関係者のご苦勞の賜物であり、同時に市民の水俣に対する郷土愛の賜物であります。

さて、水俣国際交流協会は、数年間続いていた台湾の競り舟チームとの交流がきっかけで設立され、今年は設立10周年を迎えました。

記念の年に台湾から男子チームの参加を頂きましたが、この台湾チームを招待しているのが、実は水俣国際交流協会です。今年は選手20名、応援団31名の来水でした。

今後も貴協会と協力して、台湾との友好関係を深めて参りたいと思います。

個人的な事ですが、競り舟に想いを馳せさせるのは「鐘の音」です。

家業の鉄工所でいつもこの「鐘」の修理を頼まれますが、ひび割れた鐘を見るたびに、鐘を叩き割る程の「熱い思い」を感じ、これに同調した漕ぎ手の「必死の姿」が浮かびます。この「熱い思い」と「必死の姿」が明日の水俣の原動力になる事を期待したいと思います。



初代会長

寺本 巧  
(元教育長)  
1984年～1993年  
(昭和59年～平成5年)



第2代会長

田村 耕紀  
(元教育長)  
1993年～2002年  
(平成6年～平成14年)



水俣市競り舟協会  
山下 和彦



昭和59年、協会設立と同時に  
台湾チーム、初めての来水  
(左端:今は亡き大川氏 中央帽子:寒川副団長)



平成10年7月26日  
国民体育大会、カヌー競技会場 23回大会  
水俣湾で開催

水俣市民の皆様、大会に出場していただいた各チームの選手の皆様、そして競り舟大会をこよなく愛していただいた皆様方、お陰様で今年競り舟復活30周年を迎える事ができました。私たち競り舟協会としまして、心から感謝致します。誠にありがとうございました。昭和51年、それまで中断していました競り舟大会を、市の当局の方々、そして市民の熱意ある方々の御尽力により復活していただき、今年30周年を迎えたることができました。水俣に、競り舟大会が誕生したのは明治の末期と聞いています。また長い伝統行事には色々なエピソードも聞き及んでいます。10周年、20周年と記念行事をして参りましたが、今年30周年という節目に、連続30回、29回、28回……と出場したチームに対し、心から深甚なる感謝御礼を申し上げます。夏の風物詩としての競り舟大会が、水俣の港まつり(後の恋龍祭)の行事の一環として、市民の皆様の共感を呼び、長く続いた一因と思います。

出場したチームでは、親子、夫婦、兄弟等色々な関係の選手がおられるようです。各地区、各家庭での結びつきも、より緊密になったのではないかと思います。

これからも水俣の名物行事として続いて行くとともに、台湾、香港からも参加していただきました。今後も国際交流の発展の場として、益々価値あるものとしたいものです。

競り舟協会として、今後とも、更に尽力をしたいと思えます。市民の皆様方の御協力を、お願い致しまして、競り舟復活30周年の御挨拶と致します。



水俣市民競り舟大会復活30周年の記念誌発刊を祝して

アジアカヌー連盟 会長  
 アジア綱引連盟 会長  
 台湾オリンピック委員会 副会長  
 台北市体育文化協会 名誉会長

呉文達

この度の水俣市民競り舟大会30周年に記念誌の発刊おめでとうございます。30周年は、非常に永い年月で皆様関係者のご苦勞とご協力により、絶え間なく毎年大会を開催してこられました。台湾とは20数年前より毎年交流があり、台湾では農歴の5月5日(端午の節句)に台湾各地で盛大にドラゴンボート大会を開催しています。水俣市は勿論、世界各国から優秀な選手が集まり、国際大会が開催されています。水俣の競り舟とは舟の型が少し違いますが、漕ぐ方法は殆んど同じです。また水俣市が毎年7月末、または8月始めに開催されます市民競り舟大会には、台湾からも毎年参加しています。男子チームは台湾で優勝しても、水俣の大会ではなかなか良い成績が取れません。舟が違うのと練習の時間も無いのが一番の悪条件です。しかし女子チームは何回も参加しましたがいつも優勝しています。私が担当していますアジアカヌー連盟には五種類の競技種目があり、その中にドラゴンボート委員会が入っています。国際カヌー連盟は、ドラゴンボート大会がオリンピック種目として、皆んなで競争できるよう運動しています。2008年に北京で開催されます。国際オリンピック大会に中国側では、全力上げてドラゴンボート大会が競技種目に入るよう運動しています。その他各地で大型大会を開催しています。ドラゴンボート大会は、中国5000年の歴史、また民俗運動の重要種目として、全国民に愛され重視されてきました。今後も水俣市と台北市が、競り舟大会やドラゴンボート大会以外でも各方面で一層交流ができ、お互いに永いお付き合いができるよう期待しています。



祝 水俣市競り舟協会成立三十周年  
 台湾台北市体育文化協会会長

高玉順

私たち60数年前は相互に同じ国旗の下で暮してきました。しかし終戦後別々の国民になりました。しかし人と人の交流はそれには影響されません。

水俣市と台北市は元来、何の往来もないのに何故に現在尚も毎年熱烈な親善活動を継続されているのか。その功勞は水俣競り舟協会に受興します。決して過言ではありません。設立以来、毎年端午の節句に挙行される台北市ドラゴンボート大会に、継続してチームを派遣参加して来ました。その献身的な努力に敬意を表します。しかしその頃は単なる水上運動競技参加であり、片側通行でした。しかし25年前、呉文達先生が台北市ドラゴンボート協会会長に、私が常務理事に就任して以来、両側通行になりました。台北市からも毎年チームを派遣して、水俣市民競り舟大会に参加し優勝旗を飛行機に乗せて帰台した事もありました。

また十年前水俣市との交流を強化するため、呉文達先生が「台北市体育文化協会」会長になり、各種(歌唱、綱引、卓球等)の交流を続けて来ました。任期制度の為、2年前私が会長を引継ぎました。

水俣市全体市民の健康を祝福して、筆を置きます。



記念誌発行について  
水俣市競り舟協会理事長  
岩 阪 雅 文

水俣市の競り舟大会復活から30年!復活に情熱を燃やした仲間たちも60歳前後になりました。また復活に思いを馳せ往年時代を懐かしんで、協力してくれた先輩たちもかず少なくなってきました。水俣市100年の生活文化の一つとして、先達たちが続けてきた伝統行事が、行政を始め多くの仲間を支えられ、30年間地域のコミュニティーづくりや活性化に貢献した意義は大きいと思っています。

今後も水俣の夏を告げる伝統行事として、息長く続くことを願っています。

さて記念誌の発行は、昭和62年以来20年振りになります。本来は10年、10年の節目の発行がふさわしいのかもしれませんが、今回の記念誌は63年以降の資料をまとめたものです。いずれにしても20年分の資料を振り返ると膨大なものになってしまいます。そこで見やすいものにするために、これまで報道された記事を中心に編集しました。

また今回の記念誌は、昭和59年初の海外遠征として、台湾国際ドラゴンボート大会に出場し以来20年、競り舟協会の発足と同じ歴史をたどり、今日まで交流の和が続いています。

今日まで延べ500名以上が台湾を訪問したに違いありません。

特に台湾の受け入れ窓口として、台北市体育文化協会名誉会長の呉文達氏並びに、会長の高玉順氏には20年間一貫して協力していただいています。そのことも記憶に止めなければなりません。

今回寄稿をいただき交流の歩みを掲載しましたが、今後も末長い交流が続くことを願いつつ、発行に御協力いただいた関係者の方々に心から感謝を申し上げます。



記念誌裏表紙



10周年記念誌(1987年・昭和62年)表紙

# 水俣の競り舟について

## 水俣競り舟夜話

水俣の競り舟は現福田農場の祖々父に当る森田国蔵さんらによって長崎から伝えられたといわれていますが、八幡町の本郷さん（昭和51年没）によると、「明治31年、私が小学校1年生の時乗った記憶がある」と言うことなので、この少し前に始まったと思われます。

当時疫病が流行して伝統を誇った虫追い行事も、廃止されたままになっていたので、時機を得たこの競り舟は、年毎に盛んになって行きました。

白浜町の寵覚さん（77才）は、「19才の時の大正10年、商工会チームの一員として出場して、頑張りましたが、芸者チームに敗れたため、面目まるつぶれで、しばらくは表通りを歩けなかった」ということです。

これら女子チームは、「島田の髪をタオルで巻いて、流行の水着を着用して力漕、強烈なお色気を発散」しました。

昭和7年に改修されるまでの水俣川は、小崎—市立病院—水俣郵便局—山口製作所のコースを流れていました。

そして六ツ角付近には永代橋がかかり、浜側には砂糖屋旅館（現徳富齒科病院）が、その大きな姿を浮かべていました。対岸は古賀と大園で、川岸の通称大園の塘には、遊郭が軒つらね、二階からレースを見おろす遊女たちが、「ヤーさんがんばってえー」などと大声をあげ、興奮してくると、クシやカンザシを馴染の選手に投げたり——。「その華やかさは現在の比ではなかった」と、古老たちは目を輝かせて懐しんでいます。

スタート地点は、現在の浜グラウンドの市立病院側入口付近で、永代橋下あたりだったということです。

レースは現在と同じ500mほどで、丸島、船津、古賀、浜、湯堂、茂堂などのチームがしのぎを削りました。津奈木からも毎年、オープン参加していましたが、これがめっぽう速く、水俣勢はまったく歯がたちませんでした。

また当時は、満潮時だけレースを行っていたもので、朝、数レースやって昼は休み、夜、潮が満ちるのを待って、ちょうちんの明りで、再びレースを行うと言う、のんびりしたものでした。

水俣川改修工事が始まった昭和7年から、地域対抗はなくなり、変わって日笠（チッソ）尚和会による競り舟大会が、昭和9年梅戸港で開かれました。



昭和初年、永代橋での競り舟風景



旧水俣大橋でのスタート！

水俣市民競り舟大会10周年記念

## 九州競り舟大会 （飛龍）

とき 1985年7月21日 開会式 午前10時

ところ 水俣港 レース開始 午前10時40分



主催 水俣市・水俣市教育委員会  
主管 水俣市競り舟協会・水俣市体育指導委員協議会  
後援 水俣ロータリークラブ・水俣ライオンズクラブ  
水俣商工会議所・水俣観光協会  
協賛 水俣みまもと祭振興会・水俣市青年団体連絡会

尚和会とは、チッソ従業員団体で、スポーツ、文化活動など、あらゆる分野で、市（町）の中心的存在でした。

梅戸港での競り舟は、沖の方をスタートし港湾をゴールとするもので、「遠くて見づらかった」と言うことです。

旧水俣川時代にも活躍した浜町の塩崎伝次郎さん(73)によると「これまで漁船のモマ船を使用していたのを、尚和会により専用の競り舟6隻を建造、艇庫も梅戸に建設しました。」

また、「コーチの中に、東大ボート部でならした人がいて、艇長（メガホン振り）を船首にのせ、カジも「ろ」の型から普通の型に改めました」。現在のスタイルが、この時ででき上がっているようです。

さらに「カイも先のとがったものから平たい型に、漕ぎ方も角度はね方など、ボートの要素を取り入れた合理的なものとしたため、ゲンとスピードが加わりました」。

梅戸では2回だけ行なわれ、昭和11年から改修なった新水俣川（現水俣川）で開かれました。

コースは、幸橋から八幡宮裏（現水俣大橋付近）までの500mで、このコースは両岸の堤防か斜面となっているので、見物には絶好の観覧席となっていて、レースを見下ろしながら、一段と応援合戦が盛り上がりました。

尚和会より1年早い昭和10年、青年団対抗が始まり、この年丸島が優勝しています。

丸島町の橋本喜代太郎さん（73）は、当時、米俵（60）kgをほうり投げる力もちでしたが、旧水俣川時代と同じハナ漕ぎで出場、優勝に貢献しました。

橋本さんによると「丸島、船津（現八幡町）は、以前から優勝を争うライバルだけに仲も悪く、魚市場をもつ丸島は鮮魚商の多い船津に——魚を売らない——と宣言すれば、船津側は——八幡通りは通らせん——と応酬。果ては丸島側がなぐり込み」の一幕もありました。

丸島チームのマネージャーを努めた中村政雄さん（75）は、「浜、丸島、茂道、は仲がよく、反対派の船津、湯堂、津奈木とは犬猿の仲だった」こと。

昭和16年に大東亜戦争が始まり次第に激化、浜町の園村輝男さん（55）は「尚和会で17年まで出場した」とのことですが、その後中止されたと言うことです。

終戦後の昭和24年、5年尚和会によって復活、2、3年後からは青年団対抗が再開され、34年まで続けられました。

青年団対抗では、山間部の石坂川チームの活躍がめざましく、数回優勝、当時は極端な食糧難で「石坂川は米をたらふく食べとるから」「いや空漕ぎの練習がすごいから」、などの噂で、もちきりでした。

昭和32年からは湯出青年団が3年連続優勝し、34年を最後に、財政的な理由で中止となりました。

そして51年、青年団体連絡会議によって復活し、現在に至っていますが、年々盛んになる一方、最近では昭和58年7月、「九州競り舟大会」が開催されました。そして、昭和59年6月初の海外遠征として、「台湾ドラゴンボート大会」に出場、堂々3位入賞、精神獎をも獲得しました。





第1回開会式、八幡宮相撲場(現在武道館)

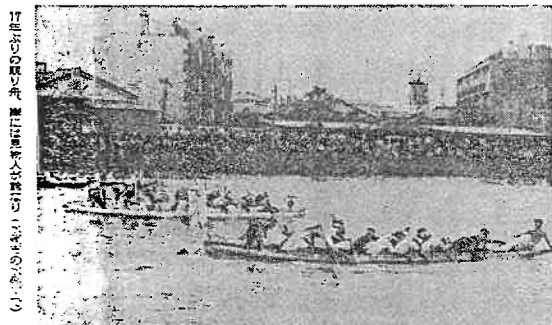
第3節 競り舟の伝来と歩み



昭和53年7月、復活第3回競り舟大会に出場した連合青年団女子チーム

1976年(昭和51年)10月19日

17年ぶり勇壮なレース



水俣川のペーロン競争  
 水俣市の水俣川に、17年ぶりにペーロン競争が行われた。この日は、水俣市青年祭の目玉として、水俣市青年団(水俣市)と、水俣市青年会(水俣市)の2チームが出場した。このレースは、水俣市青年団が優勝した。このレースは、水俣市青年祭の目玉として、水俣市青年団(水俣市)と、水俣市青年会(水俣市)の2チームが出場した。このレースは、水俣市青年団が優勝した。

市青年祭の目玉に



ソレ行け 片手でもOK?

建造と大会復活の声を受けて、資金調達方法、舟の規模・構造の検討、大会日の設定等について青年団体連絡会議と協議を進め、三隻を市費建造、三隻分を募金することを決定した。幸い、募金にはライオンズクラブとロータリークラブから各一隻の寄贈申し出があり、目標は早々に達成し市費建造と合わせて六隻の建造ができた。

こうして、第二回大会は昭和五十二年七月二十四日、水俣大橋下流五〇〇メートルのコースで行われた。参加チームは第一回に比べ二・五倍の四七チームが増え、市民の意気込みと関心の高さを示した。第三回大会以降も年々参加チームが増え、昭和五十五年にはさらに三隻を追加建造し、この年から敗者復活戦を採用した。また、昭和五十九年からは三〇〇メートルコースによる女子レースも実施されることになった。





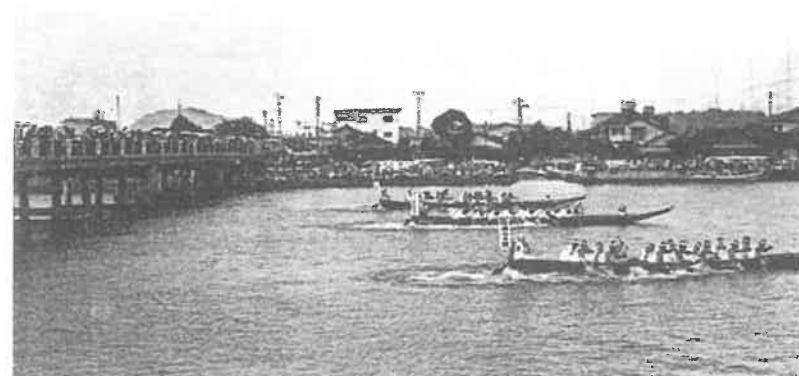
昭和52年7月の復活第2回競り舟大会に出場した大園ママさんバレーボールチームの皆さん

絡会議」(岩阪雅文会長)を結成した。そしてその年の「青年祭」に競り舟大会を行うことを決めた。舟は隣の津奈木から借りることで了解ができ、大会日は十月十七日に決定した。参加チームは青年団体連絡会議の構成団体である水俣若い仲間会、水俣フォークダンス同好会、丸木舟などのほか、湯堂、水東、湯の鶴、葛渡、丸島、津奈木青年団など一八チームであった。

青年たちの中に競り舟経験者は少なく、大会前に先輩たちの手ほどきは受けたが、本番ともなれば舟は意のままにならず、ジグザグに走ってコースを侵犯する舟や一回転する舟もあって、会場は歓声と爆笑にわいた一日であった。

昭和三十五年以来絶えて久しかった鐘の音が、一七年ぶりに川面をゆるがしたとき、忘れられようとしていた郷愁が市民の胸によみがえり、競り舟復活への願いが大きくなりとなって広がった。

大会直後の十一月一日、教育委員会に新設された「社会体育課」にとっては、この競り舟復活への取り組みが初仕事となった。市、市議会、教育委員会に寄せられる競り舟



復活した競り舟大会(昭和52年7月、新造船による初の大会)

昭和二十年八月十五日終戦。荒廃した国土に外地から復員軍人、一般邦人が続々と引き揚げてきた。わずか三年間で人口は一万人も増え、大きな被害を受けた日窒水俣工場もいち早く復興、街の家並みも徐々に整いを見せ、民心も次第に落ち着きをみせてきた。

昭和二十四年には日窒尚和会が競り舟大会を復活、七年ぶりに水俣川に明るい歓声に戻ってきた。昭和二十七年からは教育委員会が主催する大会が始まった。大会は当初区対抗形式で行われたが、のちには青年団対抗に変わったようである。この青年団対抗では山間地のチームが強く、石坂川青年団が数回優勝したり、昭和三十二年から三十四年までは湯出青年団が三年連続優勝の実績を残している。

昭和三十五年は日本の高度経済成長が始まった年といわれているが、この前後から全国的に若者の都市集中が顕著になってきた。水俣も例外ではなく毎年一、〇〇〇人前後の人口流出が続く、青年団対抗の競り舟大会も昭和三十四年を最後に再び中断された。

その後水俣は、公害の原点として全国に知られるようになり、長い年月にわたり暗く沈滞したムードが続く、市民にとって競り舟は遠い過去のものになりつつあった。

昭和五十一年七月、水俣の若者たちが集まって「水俣市青年団体連

## 第三節 競り舟の伝来と歩み

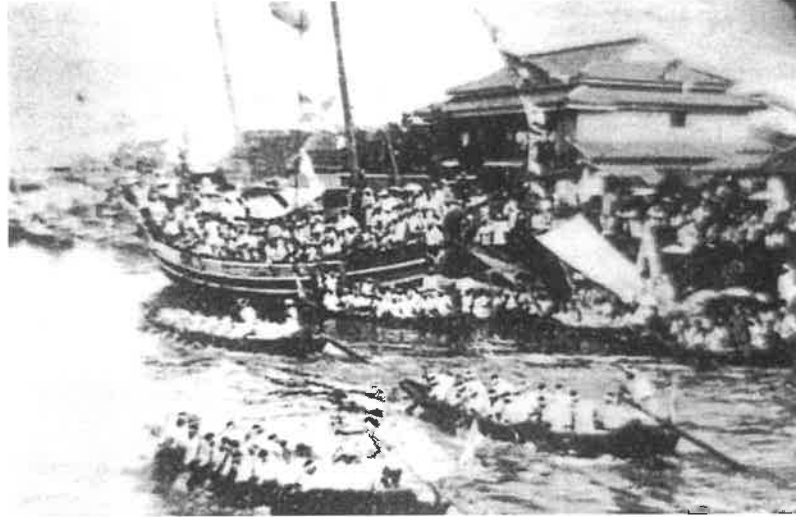
### 第3節 競り舟の伝来と歩み

野球の伝来に遅れること一〇年、明治の中期に長崎からペーロンが伝わった。もともとペーロン発祥の地は中国の福建省、福州といわれ、中国語で「飛龍」と呼ばれているものが、日本へ伝来するに及んでペーロンに変わったということである。それがさらに水俣に伝わって「競り舟」となった。水俣伝来のきっかけは、明治のころ、八幡(現在の八幡町一丁目)に住む森田周蔵が商用で長崎と頻繁に往来していた、たまたま長崎でペーロンを見て店子のレクリエーションにと思い、お盆の月夜に投網舟で競漕させたのが始まりと言われ、一名「ヘンヨヤッサ」の名で親しまれていた。

そのころ水俣では疫病が流行し、伝統の虫追い行事が中断して村民たちは娯楽に飢えていたときであったので、初めて見た競り舟に共感を覚え、八幡地区から村内各地区へと広がり、地区対抗の競り舟大会が行われるようになった。大正時代になると大会はますます盛んになり、レースも白熱化してきた。ときには勝敗をめぐって殴り合いやレース中に舟を衝突させたり、果ては帰りの舟を待ち伏せて襲うというわさが飛んで、陸路舟を担いで帰ったというエピソードも残っている。また、レースには芸者チームも出場し、濡れた肌襦袢で男性軍を悩まし、敗れた男性チームの選手たちは、しばらくの間は町も歩けなかったと言う古老の話もある。勇壮なけんかレースの中にも情緒漂う大正ロマンが感じられるレース風景であったようだ。

当時の水俣川は、現在の中央公園グラウンド付近から市立病院、熊本中央信用金庫水俣支店、水俣郵便局の線

第17章 水俣のスポーツ



大正末期の競り舟大会(赤星亀尾氏撮影)

を流れており、国道三号の六ツ角交差点辺りに永代橋が架かっていた。スタート地点は水俣市立病院前駐車場の東端付近で、ゴールは水俣郵便局付近。途中の川岸と永代橋は観衆で埋まり、左岸の大園の塘からは黄色い声援がとんだという。

そうした中で、昭和七年から水俣川改修事業が始まった。工事は二か年で終わったが、恒例行事となつて最も楽しみにしている競り舟大会を中断することは町民感情として忍びがたかった。ついには日寧尚和会の肝いりで六隻の舟をつくって梅戸湾で大会を開いた。しかし地の利が悪いことや観衆と舟との距離が遠く、盛り上がりには欠けたため二か年だけの開催に終わり、昭和十一年からは改修成った水俣川に移して行われるようになった。

昭和十二年七月、中華民国との間に発した武力衝突は次第に戦域を拡大、昭和十六年十二月に太平洋戦争が始まるや国内は戦時体制が強化され、昭和十八年からはスポーツ大会はすべて禁止され、競り舟大会も中止となつてしまった。

**1987 (昭和62年)  
第12回大会**



**2005 (平成17年)  
第30回大会**

# 第12回大会 1987年 (昭和62年)

## 第12回大会成績

男子				女子			
優勝	湯堂	2分22秒4	優勝	新栄合板	1分42秒2		
準優勝	宝川内	2分24秒4	準優勝	深川	1分42秒7		
三位	20区	2分29秒4	三位	石坂川	1分44秒8		

# やっぱり強か！湯堂

## せり舟大会 女子は新栄合板

第十二回水俣市民競り舟大会 征の中核となった丸島の二連覇 三回戦で強豪同志が対戦する。は、八月二日(日) 照りつける なるか、湯堂の復活なるか、今度も例外ではなく、三回戦で 太陽の下、男子四七、女子七、 れとも宝川内など初優勝か、全 優勝候補の丸島と湯堂が対戦、 招待四チームが参加、水俣川下 く予想もつかず、練習中から熾 二ヶ月余りの厳しい練習の成果 流の大橋をスタートに熱戦が繰 烈な戦いが始まっていた。 をこの一番にかけ、闘志を秘め り広げられました。 大会の組合せは神のいたずら た選手同志の握手には、迫力が 今年、昨年優勝して台湾遠 かとと思う程で、必らず二回戦、 感じられました。



▲男子優勝の表彰

▲女子優勝の表彰



去六勝の湯堂が 力強い「カイさ ばき」で迫る丸 島を下し、「チ ームワーク」で 「技あり」、決 勝に進出しまし た。 去六勝の湯堂が 力強い「カイさ ばき」で迫る丸 島を下し、「チ ームワーク」で 「技あり」、決 勝に進出しまし た。 去六勝の湯堂が 力強い「カイさ ばき」で迫る丸 島を下し、「チ ームワーク」で 「技あり」、決 勝に進出しまし た。



レースは、過 万雷の拍手を浴びました。 女子の部は、七チームで、昨 年の女王、新栄合板が、深川、 石坂川、二二区を抑えて見事、 女王の座を守りました。 又、余興のオープンレースは O.B戦とも言える和やかなレー スでライオンズクラブが一位と なりました。 最近では、競り舟と聞くと自分 分から主人をさそう位です」と 声をはずませておられます。 競り舟は、苦しく厳しい自然 との戦いで人生の縮図だと言っ ても、お互い声をかけ合い、汗 を流したあと、色々なお話があ きて、運動不足やストレス解消 になります。

## おめでとう 入賞チーム



男子優勝の湯堂

男子 1位 湯堂 (2分22秒4・最高タイム)、2位 宝川内 (2分24秒4)、3位 20区 (2分29秒4)、敢闘賞 3区 (2分30秒9)。



女子優勝の新栄合板

女子 1位 新栄合板 (1分42秒2)、2位 深川 (1分42秒7)、3位 石坂川 (1分44秒8)、敢闘賞 22区 (1分46秒1)。

1987年  
(昭和62年)

# あなたは何を見ましたか

カン、カン、カン。それっ。カン、カン、カン。それっ。この音と声を聞いただけで体が熱くなるという、水俣人の真夏のイベント「市民競り舟大会」が、今年も八月二日、水俣川河口で開かれました。

## さすが実力 湯堂、最高タイム 第12回 市民競り舟大会



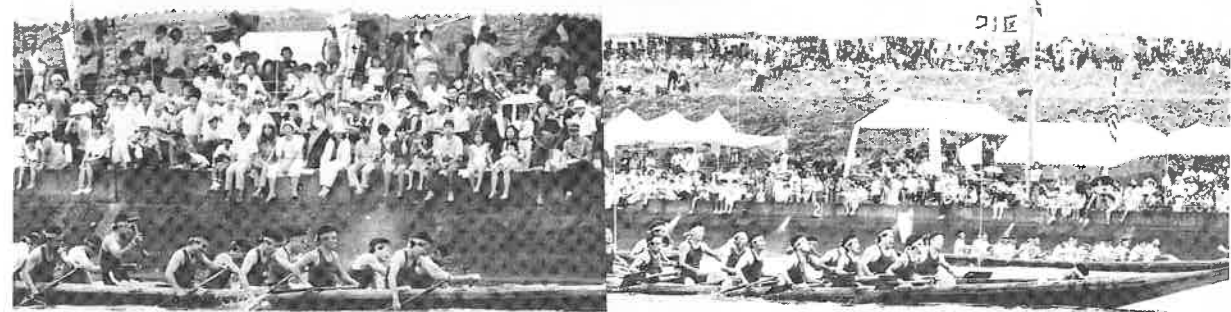
「カイあげー。スタート」の合図とともに一斉に鳴り出すにぎやかなカネの音。それに合わせて、十四人のこぎ手が五〇〇リ(女子は三〇〇リ)を力漕するのこの競り舟です。七月の声を聞く(あるいはそれより前から)、各チームとも一斉に練習を開始しますが、割り当てられた乗船日だけじゃとても足りない、陸地でのカラこぎも盛んに行われ、毎晩どこからか聞こえてくる「カン、カン、カン」。

練習する人も、夜、送り出す家族も、毎夜カネの音を耳にする市民も、競り舟で気持ちが一つになります。そしていよいよこの日の大会。くもりがちで雨まで降らせた天気も、一レースごとに高まる熱気につられて、じわじわと夏空に様変わり。両岸につめかけた約五千人の見物客の大声援もあって、地域、職場、グループなどから出場し

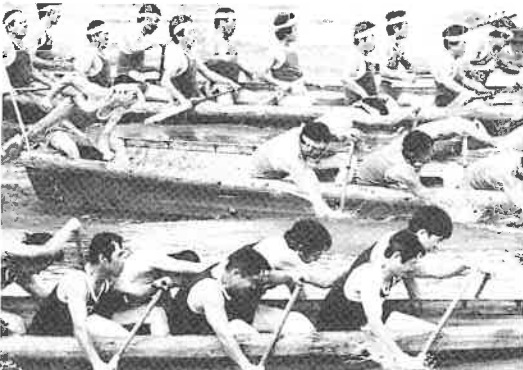


た男子四十六チーム、女子七チームが一回戦を終えるころにはすっかり曇も遊のきました。準決勝、決勝と進むにつれてさすがに実力伯仲。カイさばきと全員の息がピタッと合って、舟はすべるように水面を進みます。

結局、レースは、昨年、丸島チームに五連覇を伸ばされた湯堂チームが底力を発揮。これまでの最高タイム二分二十二秒四で七度目の優勝を果たしました。



# この夏



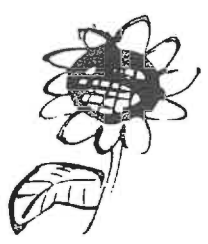
▲500メートルはけっして短くない。心臓はドキドキ、体はガクガクするほどの長さです。それでもこぎます水俣人。

▲この顔からすると、勝ったの？

## 優勝めざし台湾ドラゴンボート大会へ!!



水俣の競舟ベロンチームが、台湾、台北市のドラゴンボート大会に招待出場することになって今年で三年目になります。一昨年は三位、昨年は準優勝と年々成績を上げています。一昨年は資料不足ながら手探り状態の初参加で、台北市に着いたのが十二時(時差が日本より一時間遅い)十一時に屋敷を済ませ、早速練習会場へと向かった。初めて見る舟は水俣の舟とは異なり、オールの間が狭く先端がとがって、勿論舵も違う。何もかもが初めてなので台湾へ着いてから漕ぎ方もかえる事になるなど大変でした。結果はというと、敗者復活戦から勝ち上がった。昨年は前回の経験を生かし、まず食事から気を付け(一昨年は台湾食が合わず腹をこわした選手がいた為)各自選手が日本から用意して行くなどして体のコンディショニング作りから始まり、大会に備え屋敷も持って行った米をホテルのキッチンさんをお願いして水加減を指導して炊いてもらい、にぎりめしにして競技場へ運ぶ、といった苦労話もあります。昨年はやはり一昨年同様、敗者復活戦から勝ち上がり準優勝ではあったけれども(国際レース十一チーム中オーストラリアが優勝)、そのオーストラリアチームに我水俣チームは一



勝一敗のタイム差で負けてしまったので、今年こそはとチーム一丸となって練習に励んでおります。又、今年にないチームワークもあり、職場や地域十二チームから選び抜かれたやる気充分の選手達。平均年齢も経験豊かな三十才、平均体重七十キロのパワー抜群で頼もしいチームでもあります。毎日仕事を終え夕方六時から二・三キロのランニングから始まり、およそ二時間の猛練習。試合で三百米を一気に漕ぎ抜く為に糧で百五十回のピッチ漕ぎで行い、ゴールでも旗を取るレースなのでその練習をも重ねている。選手の間でも日毎に一体となり、鐘の音に合せ、まるで一人で漕いでいるかの様な二十五名の姿が心強く思われてきました。今年こそは優勝して選手一同練習の苦しさも吹き飛ばしたいと思っております。

島本康藤監督

# 第13回大会 1988年 (昭和63年)

頌  
春



本年は辰年一竜(ドラゴン)の年、水俣の新生「せりぶね」も昭和51年、辰年生まれの12才。12千支(えと)2愈目は竜山(中尾山)を背に、元祖「ドラゴンボート」との交流も夢ではない一飛躍の年です。

山本達雄氏撮影

## お見事 吉永商会チーム

### 競り舟大会で初参加初優勝 女子は台湾「四季潜水水泳会」

去る七月二十四日、第十三回 年々盛会を見ている競り舟市民競り舟大会が水俣川で行なわれました。先ず台湾(中華民国)ドラゴンチームの参加が実現したこと。これは過去四回、水俣の代表が台北市の招待を受けている為の答礼とも言えます。



優勝した吉永商会チーム

台北市の男女二チームが来水、男子は人垣であふれ、特に水俣大橋は、水俣の代表も勝てない台湾関係職員、「台北」を見る人であふれた。男子の「台北市」は、教育者子はママさん水泳など交歓が目的のチームらしくクラブでドラゴン予選で敗退しました。

大会の実力チーム「四季潜水水泳会」一行五十名が訪れました。

競り舟は、この地方独特のもので、舟、カイ、カジ、レース形式など全て異なるため、台北市チームは練習時にもまだいざという時、十分もすると立派な漕ぎっぷり、特に女子チームはハッスルしていました。

大会は、好天に恵まれ、兩岸があがって、下馬評通りのレースが展開されましたが、初参加の吉永商会が落ちついた力漕を見せ見事初優勝を飾りました。

市競り舟協会の岩阪理事長は、男子五十一チーム、女子十チームの参加という盛り上がりを見



ふれあい

競りあい

にぎわい

たまたえあい

## 第13回大会成績

男子				女子			
優勝	吉永商会	2分21秒8	優勝	台湾女子	1分34秒4		
準優勝	宝川内	2分22秒9	準優勝	新栄合板	1分35秒6		
三位	新栄合板	2分27秒1	三位	22区	1分41秒6		





毎年来たいです  
サイ フェイツァー  
蔡 慧 珠 さん  
(台湾 26歳)

競り舟は台湾ドラゴンと大体同じで漕ぎやすく、優勝できたのはうれしい。でも、男子組が負けたのは残念。水天荘は眺めがよく料理も美味。毎回、残らず平らげ、みそ汁は何杯もおかわりしました。とにかく、大歓迎していただいて一回感謝。毎年来たい。水侯からもね。再見！



チャレンジ  
日本流に挑戦  
レイ・ウッドコックさん  
(オーストラリア 55歳)

舟を漕ぐのは大好き。台湾ドラゴン大会では水侯とよきライバルです。今度はぜひうちのチームを参加させたい。日本に来たら、当然生活も日本式に挑戦。水侯の方からもらったカいは大切にします。



優勝した台湾女子チームはひまわりのような笑顔で人気物



おしくも2回戦で破れた台湾男子チームをねぎらう16区(後姿)の選手



うれしさの表現は世界共通

競り舟大会で、今年は外国語が飛びかいました。台湾チームのほかに、オーストラリアからもドラゴンボートチームの監督レイ・ウッドコックさんが来水。市役所一軒会に混って競り舟を

漕いでくれました。外国の人だからという心配はご無用。水天荘に宿泊した台湾チームは、刺身のわさびが足りなかった以外は日本食に大満足。教育委員会の石田勝さん宅にホ

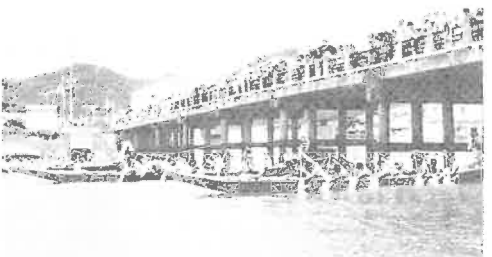
ームステイしたウッドコックさんには、石田さん流の水侯弁英語で十分通じたそうです。国際交流が進むなか、今回のふれ合いを私たちににとって良いきっかけにしたいと思います。

## 競り舟通じて国際交流 オーストラリア 台湾



「今年は台湾から来らしてバイ。強くてヨ、絶対見逃せん」。こんな声があるのは知っていましたが、まさか、こんなに見物人が増えるとは。大橋から水俣川河口にかけて、人、人。真夏の日射しにテントと日傘の花が咲きました。今回、水侯こやっぺきたのは、白熱したレースを展開しました。結局、男子は初出場の吉永商会、そして女子は水泳で鍛えた肉体にものをいわせて、見事、台湾の四季潜水遊泳会が優勝をものにしました。

六月の台湾ドラゴンボート大会で優勝した男女各一チーム。毎年、水侯チームが招待されるお礼も込めて、今年初めて競り舟大会に招いたものです。開会式の後、十二時半、いよいよ熱戦スタート。地区、職場グループなどで結成した各チーム一団の漕ぎ手が一丸となり21秒8・大会新②宝川内(2分22秒9)③新栄合板(2分27秒1)④水光社(2分27秒6)女子レース ①四季潜水遊泳会(1分34秒4・大会新)②新栄合板(1分35秒6・大会新)③22区(1分41秒6・大会新)④深川(1分42秒0)。



## 第13回 市民競り舟大会

# 男子吉永商会、女子台湾が初優勝

水俣川で開かれる真夏のスポーツイベント、市民競り舟大会が七月二十四日(日)、大橋下流であり、今年も大いに水侯人の血をたぎらせた。台湾からの初参加も含め、出場チームは史上最高六(男子五・女子一〇)。見物人も二万人にふくれ上がりしました。

24日

台湾女子チームのパワーと笑顔に「参った」



1988年  
(昭和63年)

## 水俣で一体感学ぶ 大阪の高校生が 「今年も競り舟」



▲楽しみながら、心を合わせる大切さを学んだ  
大阪の高校生たち

水俣川河口から次々に九隻の舟に分乗しました。この日はあいにくの強風で、舟がゆれるたびに「キヤー」「コワイ」と悲鳴があがり、「この舟、大丈夫やろか」と不安そう。でも協会員の指導で、満潮の川面をすすみだすと、多少の風もなんのその、気持ちよさそうにスイスイ！。みんなの顔もにこにこ、はればれ。少し慣れたあと、大橋から上流三〇〇mのコースで模擬レースを行い、決勝では抜きつ抜かれつの接戦を展開。道ゆく市民も声援をおくっていました。生徒たちから「競り舟は何か重みが違う」「全員一体となる大切さがわかった」という手紙がきました。やはり「修学」になったようです。来年もきつとやってくるでしょう。水俣で心を学びに……。

昨年、修学旅行でやってきて、「競り舟」を初体験、大フィーバ―として話題をよんだ大阪府立高槻北高校。ことしは、すぐ隣りの同府立春日丘高校(茨木市)が話をききつけて修学旅行で来水、競り舟を楽しみました。同校生徒二年生の男女一四七人は、宿泊先の霧島温泉から午前一〇時すぎに本市へ到着。まず武道館で、市競り舟協会員らに漕ぎ方の指導をうけたあと、

## 第13回 水俣市民 競り舟大会

●とき '88 7/24①

開会式/午後12時00分

●ところ 水俣川河口

Dragon Boat Races



■主催/水俣市・水俣商工会議所・水俣市青年団体連絡会議  
■主管/水俣市教育委員会・水俣市体育指導委員協議会・水俣市競り舟協会 ■後援/水俣市体育協会



## 第14回 水俣市民 競り舟大会

●とき '89 7/23①

開会式/午前8時30分

レース開始/午前9時

●ところ 水俣川河口



水俣市制施行40周年

■主催/水俣市・水俣商工会議所・水俣市青年団体連絡会議  
■主管/水俣市教育委員会・水俣市体育指導委員協議会・水俣市競り舟協会 ■後援/水俣市体育協会



# 第14回大会 1989年 (平成元年)

## 第14回大会成績

男子			
優勝	吉永商会	2分28秒5	
準優勝	丸島	2分30秒6	
三位	水光社A	2分31秒4	

四位	ホームズ	2分34秒1
三位	水光社A	2分31秒4
二位	丸島	2分30秒6
優勝	吉永商会	2分28秒5

### 男子決勝結果



連続優勝を飾った吉永商会チーム

五位	石坂川	1分53秒7
四位	深川	1分50秒8
三位	新栄合板	1分49秒6
二位	22区	1分49秒0
優勝	中華民国	1分38秒2

### 女子決勝結果

女子の部で2年連続優勝を飾り喜ぶ台湾女子チーム (四季潜水水泳会)



市民競り舟 男子決勝の激戦  
1位 吉永商会 2位 丸島 3位 水光社  
4位 ホームズ

## 第十四回市民競り舟大会 吉永商会チーム一連覇 女子は台湾女子連勝

去る七月二十三日(日)、市民競り舟大会が水俣川河口で開催されました。

市制四十周年記念大会として行なわれた今年の大会で十四回目を迎え、昨年に続いて今年も台湾の男女各一チームを迎えてのレースは、各チームとも一層の力が入ったようです。

開会式では、台北市体育協会の呉文達理事長より水俣市へ、ドラゴンボート(龍舟)の寄贈が披露されました。今年の十一月には製作にかり来年三月には完成する見込みだということです。どんな龍舟が来年かたのしみです。また、台湾との今後の交流がますます進むことが期待されます。

大会は、快晴の下、午前九時スタート、男子五十チーム、女子九チームと昨年の大会とほぼ同じ出場チーム数となりここ数年安定していますが、レースは金を重ねるごとに各チームとも実力が伯仲、白熱したレースが展開されました。

今年「新造船」三艇が加わり合計十二艇での大会となったため、一レース四艇で競うことになり、一回戦から目の離せない迫力あるレースになりました。

一回戦では、早くも好カードが生まれ、立てひざ式の独特のピッチ漕法の台湾宜蘭県チームに前年度優勝チームの吉永商会チーム、七度の優勝を誇る湯堂チーム、越小場チームが対戦、白熱したレースの結果、台湾チームと吉永商会チームが準決勝へ進出を決めました。

女子の部も、台湾四季潜水水泳会が圧倒的な強さを見せ連覇を果しました。

四季潜水水泳会は、今年度の台北市での大会では三位でしたが、日常、水泳を趣味としているだけにスタミナ充分といったところでしょう。

今年の大会は、白熱したレースに加え、青年会議所チームによる、カメラ姿による力漕もアイデア満点で、応援の人達を魅了してくれました。



大会後の歓迎レセプションは水俣・台湾チームの和やかな交流でにぎわった

# 1989年 (平成元年)

## 第14回大会成績

女子	優勝	台湾女子	1分38秒2
準優勝	2区	新栄合板	1分49秒0
三位			1分49秒6



▲昨年につづいて二連勝の台湾女子四季潜水游泳会、国際親善が目的とほいうものの、勝てばうれしいこの笑顔

## 男子 吉永商会 女子 四季潜水游泳会(台湾)

「ガ二連覇」  
市制四十周年記念大会  
今年は男女五十九チームが参加。台湾からも昨年に引き続き男女二チーム、七十四人の大選手団が来水、すつかり国際色豊かな大会になりました。そして開会式で、台湾チームの呉文達団長から、「市制四十周年を記念して、竜船(二〇〇万円相当)を寄贈しますが、その

市制40周年記念

## 第14回市民 競り舟大会

# 潮をあびてふれあい

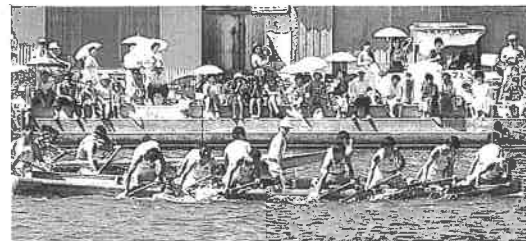


## 民間外交もまかせて 台湾ドラゴンボート大会遠征

「もう優勝、優勝しかなかたすばい」。こう明言するのは島本康藤さん(祇園町)。六度目の台湾遠征を約一か月後に控えた今年の水俣競り舟チームの監督さんです。

四月十日から日曜、祭日なしで連日、競り舟のメッカ湯堂湾で選手たちの猛練習が続いています。(写真右)

例年にも増して細かく検討したという今年の練習メニューは、2kmランニング―準備体操―台こぎ(ロープで固定した舟をこぐもの)―コースカ漕―



▲独得の漕法で地元チームを引き離す台湾男子(一回戦)

「模型を持参しました」と、市へ模型が贈られました。レースは、抜きつ抜かれつ熱戦を展開、とくに台湾女子チーム



▲台湾チームの呉団長から竜船の模型を市長へ……



▲亀の里水俣をアビールする青年会議所チーム

整理体操―ミーティングとなっています。夕方六時から始まる練習も、ミーティングの頃ともなれば夜とばかりで話す人の顔が見えなくなるほど。しかし、昨年の優勝チームを中心に十チームから選ばれた二十四人の選手たちは音をあげるどころか、毎日ほぼ全員が参加して、日に日に腕力とチームワークを身に付けています。

「台湾ドラゴンボート大会は六月の七日と八日です。準備勝まではしましたけん、あとは優勝だけ。目標はそれしかありません」と島本監督。

また、いま市競り舟協会では台湾まで一緒に行って水俣チームを応援してくれる「台湾ドラゴンボート大会市民応援団」を募集しています。競り舟を通じて国際交流をしている選手たちの晴れの舞台を、あなたも自分の目で見てみませんか。

## 市民競り舟大会には今年も台湾チームが

七月二十三日にある市民競り舟大会には、今年も台湾チームが参加する予定です。「選手をホームステイさせてはどうか。こんな話が競り舟協会では盛り上っています。あなたもこの夏、民間外交の主役に。



▲女の意地を見せる女子レース



▲力漕、また力漕、力と力の熱戦

決勝で惜敗しましたが、立てひざ式の独得のピンチ漕法に、大きな拍手がわきました。  
【第14回競り舟大会成績】  
男子 ①吉永商会(2分28秒5) ②丸島(2分30秒6) ③水光社  
女子 A(2分31秒4) ④ホームズ(2分34秒1) ①台湾四季潜水游泳会(1分38秒2) ②22区(1分49秒) ③新栄合板(1分49秒6) ④深川(1分53秒7)。



# 第15回大会 (平成2年) 1990年

## 第15回大会成績

男子	優勝	葛渡	2分33秒1
	準優勝	丸島	2分33秒2
	三位	ホームズ	2分39秒6
女子	優勝	台北市教育局	1分43秒1
	準優勝	新店市	1分45秒9
	三位	22区	1分55秒8



炎天下の会場は、色とりどりのパラソルでにぎやか (テッソアパート側河岸にて)



「選手宣誓」前年度優勝の吉永商会チーム古川満康さん(左)と台北市教育局の李蕙蕙さん(中央)。右側は岡田市長

優勝	葛渡	二分三三秒一
準優勝	丸島	二分三三秒二
三位	ホームズ	二分三九秒六
四位	宝川内	二分四二秒二
五位	津奈木	二分四九秒六
六位	吉永商会	二分五九秒六
七位	湯堂	二分五九秒六
八位	谷口鉄工所	二分五九秒六
九位	石坂川	以下省略



▶昨年に続き2連勝の台北市教育局チーム(女子)



▶初優勝を飾った葛渡チーム

去る七月二十九日(日)第十五回市民競り舟大会が、水俣川河口で開催されました。今年、記録的な猛暑が続く中で、恒例となった会場には、一万とも言われる観客が詰めかけました。中華民國、台北市などから男女三チーム、津奈木、御所浦両町からも各一チームを招待、男子五十三、女子九チーム、オープン四チームの大会史上最高の盛り上がりを見せました。水俣、台湾チームが分乗、小松聡

午前九時三十分、カラフルな市民競り舟大会が、水俣川河口で開催されました。今年、記録的な猛暑が続く中で、恒例となった会場には、一万とも言われる観客が詰めかけました。中華民國、台北市などから男女三チーム、津奈木、御所浦両町からも各一チームを招待、男子五十三、女子九チーム、オープン四チームの大会史上最高の盛り上がりを見せました。水俣、台湾チームが分乗、小松聡

### 男子成績

一位	葛渡	二分三三秒一
二位	丸島	二分三三秒二
三位	ホームズ	二分三九秒六
四位	宝川内	二分四二秒二
五位	津奈木	二分四九秒六
六位	吉永商会	二分五九秒六
七位	湯堂	二分五九秒六
八位	谷口鉄工所	二分五九秒六
九位	石坂川	以下省略

### 女子成績

一位	台北市教育局	一分四三秒一
二位	新店市(台湾)	一分四三秒二
三位	二二区	一分五五秒八
四位	石坂川	一分五九秒五
五位	七区	二分零二秒一
六位	深川	二分零二秒二
七位	以下省略	

## 第15回「せりぶね」大会に64チーム 努力の葛渡が初優勝 女子は台湾チーム



第15回 水俣市民 競り舟大会  
 ■とき '90 7/29(日)  
 開会式 午前9時30分  
 レース開始 午前10時30分  
 ■ところ 水俣川河畔

主催：水俣市・水俣商工会議所・水俣市青年団体育連合会  
 主審：水俣市教育委員会・水俣市体育指導員協議会・水俣市競り舟協会 ■後援：水俣市体育協会

1990年  
(平成2年)



「習うより慣れよ」思ったよりかんたんでしたドラゴンボート

## 袋湾でドラゴンボート

### 親子で一日体験

去る八月五日袋湾の湯葉港に 子供会関係者を中心となり「親  
おいて、地元の競り舟チームや 子競り舟体験」が実施されまし

今年、校区外を含め百二十  
名で昨年より多く、大半が小中  
学生で占めました。  
午前十時開会、準備体操をし  
て注意事項のあと、全員が救命  
具をつけて乗艇します。  
艇は、先に中華民国(台湾)か  
ら贈られた本物のドラゴン(龍  
舟)二艇で、カラフルな龍が水  
上を泳ぐような形をしていて、  
強化プラスチック製のため子供  
でも充分漕げる舟です。  
いつもは静かな港付近も、こ  
の日はかりは久しぶりに活気つ  
いたようで、多くの声援があり  
親子や近隣の人々の明かるく爽  
やかなふれあいの場となりました。  
体験した子供や地元の人から  
「是非、小学生にも漕ぎやすい  
専用の艇が欲しい」「子供大会は  
できないか」など要望がありま  
した。  
教育委員会では、平成二年度  
早くも助成金を受け、「子供用ド  
ラゴン艇」三艇を建造して、い  
つでも体験できるように計画し  
ています。



最初はこのとおり  
カイがばらばら



## 「ぼくにもこげます」。子供競り舟体験

夏本番の八月六日、子供たち  
が本物の競り舟をこぎました。  
これは袋地区の子供会と競り  
舟チームが企画したもので、競  
り舟の楽しさを子供たちにも知  
ってもらい、水俣の伝統を伝え  
ようとしたもの。今年で二回

目、湯葉港にはそれぞれの子供  
会から二〇人余りのチビツ子  
たちが元気よく集まりました。  
きょう乗る舟は、子供用競り  
舟が建造中のため、先日台湾か  
ら贈られたドラゴンボート。救  
命具を着けてもらったチビツ子

たちは緊張ぎみに恐る恐る乗り  
込みました。  
身長どのカイに手こずりな  
がらも何とかカイを握り、いよ  
いよこぎ方始め。浅く入れる子  
体重まかせに入れる子、カネの  
音に関係なく入れる子と、最初

のうちはてんでんばらばら。岸  
壁からは心配そうなお母さんた  
ちが思わずかけ声。  
何回か練習するうちカイがそ  
ろってきました。競漕できるか  
もしれないと袋湾へ。母親たち  
の熱い声援を受け、負けるもの

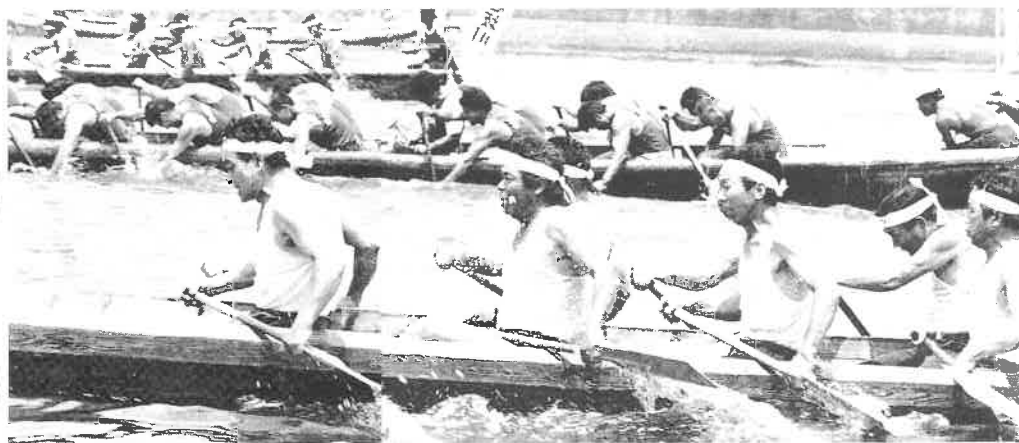
かと一生懸命のチビツ子たち。  
競り舟大会を思わせる快走で同  
時にゴールインしました。  
おっかなびっくり乗船したチ  
ビツ子たちも、すっかり競り舟  
の魅力に取りつかれた様子。来  
年は大会も予定されています。

## 真夏に一年分燃えた！

### 第15回市民競り舟大会 優勝は葛渡(男子)と台北市(女子)

水俣の熱い夏を象徴する市民競り舟大会が、七月二十九日、水俣川河口であ  
りました。もうすっかりおなじみになった台湾からの遠征チームをはじめ、今  
回は御所浦町、津奈木町からも参加があり、男女合わせて七十二チームが、真  
夏の水俣川でカイさばきを競いました。  
午前九時半、開会式が始まるころには気温も上昇開始。一回戦、二回戦と進  
むにつれて、涼しかった川風も選手のパワーと約一万人の声援で熱風に。男子  
の決勝戦ともなると、総立ちの状態でした。  
(レースの結果) 男子の部①葛渡(2分33秒1) ②丸島(2分33秒2) ③  
ホームズ(2分39秒2)、女子の部①台北市教育局(1分43秒1) ②台湾  
新店市(1分45秒9) ③二二区(1分55秒8)

▶応援団も走る！  
約一万人の応援



▲台湾から贈られたドラゴンボート



▲こぐ前には入念な準備体操



▲男子優勝の葛渡チーム



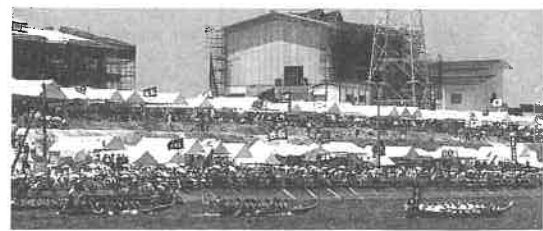
▲女子もこぐ！



▲女子優勝の台北市教育局



▲開会式には71チームが勢ぞろい



# 第16回大会 (平成3年) 1991年



## 第16回大会成績

男子	優勝	台北新店龍舟隊	2分24秒7
	準優勝	湯堂	2分25秒8
	三位	津奈木	2分26秒2
女子	優勝	深川	1分46秒1
	準優勝	台北市龍江龍舟隊	1分46秒7
	三位	石坂川	1分47秒5



市民競り舟大会

### 市民競り舟大会

## 深川念願の初優勝(女子)

### 男子は台湾チームが初優勝

復活以来第十六回を迎えた市民競り舟大会も今年度は絶好の大会日和に恵まれ、去る八月四日(日)水俣川河川にて、開催されました。

台湾チームの参加も四回目となり、すっかりお馴染みになりました。市民の参加チームは、ここ数年六〇チーム前後に落ち着いています。

今年の大会は、潮汐の関係でスタートが十二時となり、各チームともコンディションの調整に苦労したようです。

さて、大会は年を追うたびに各チームの実力が伯仲し、毎回ごとに予想のつけない展開となつています。台湾チームは初の優勝をかけて、二ヶ月間の練習を積んでの参加でした。

観衆待望の決勝レースには台湾の新店市、隣の津奈木町の招待チーム二チームと地元チームの二年連続優勝をねらう葛渡、七回目の優勝を目指す湯堂の二チーム、計四チームが進出。四連覇を目指した台湾チームは力漕ぎを許し、計四チームが激し



深川の女子部優勝

しました。

初の栄冠を得た深川のタイムは一分四十六秒一でした。成績は次の通り。

#### 男子の部

優勝 新店市(台湾)

二位 湯堂 2分24秒7

三位 津奈木町 2分25秒7

四位 葛渡 2分26秒6

#### 女子の部

優勝 深川 1分46秒1

二位 台北市(台湾) 1分46秒7

三位 石坂川 1分47秒5

四位 二十二区 1分47秒6

アービー賞  
織月・医療センター

トビ賞(男子のみ)

四区・御所浦町・市農林水産

課・湯出・医療センターA

監督談話



他地区から嫁さんに来た人と地域の人の親睦を深めるため、地区民が一体となって、頑張った結果が、台湾チームを押し越えての優勝に結びついたと思っております。この優勝が今後の地区活動に大いに生かされると思います。



## 第16回 競り舟大会

水俣市民

■とき '91.8/4(日) 9時～11時  
第一会場/第二会場

■ところ 水俣川河畔

■主催 水俣市・水俣市教育委員会・水俣商工会議所・水俣市青年団体育協会  
■主幹 水俣市体育指導員協議会・水俣市競り舟協会 ■連携 水俣市体育協会

台湾で毎年六月に開かれる「龍舟競技大会」に代表チームを送っている水俣市の強化練習が連日、同市の袋湾で続いている。今年も昨年の市競り船大会で優勝した葛渡地区を中心に選手を選抜しており、チームワークがとれているのが強み。ここ数年の不振をほん回しよつと選手たちは大張り切りだ。

大会は六月十五、十六日の二日間、台北市で開催される。直線四百呎のタイムレースで、地元の水俣勢をはじめ強豪のオーストラリアチームなど周辺諸国からも参加する。水俣市は七年前から連続出場し、かつては二年連続準優勝など上位入賞をしたが、ここ数年は下位を低迷している。

連続出場の水俣市代表チーム

袋湾で連日猛練習

に選手、役員二十四人。練習は四月中旬から陸上での体力トレーニングを開始。五月からは昨年、台湾から送られた龍舟を使い、袋湾で本格練習に入った。「選手は四月中旬から陸上での



上位入賞を目指して練習を続ける水俣市代表チーム

今年の代表チームは溝口時雄・市経済部次長を団長

今年こそ上位入賞だ

来月の台湾  
龍舟大会

城南ニュース

国際(台湾)大会に今年も出場

成績アップだ!



台湾から贈られたドラゴンボートで練習する水俣市チーム

六月に台湾で開かれる国際ドラゴンボート(競り舟)大会に出場する水俣市チームが、練習に汗を流している。今回は大会開催地の台北市の体育協会長らから贈られた本番レースと同じ舟での練習だけに、カイを握る手にも力が入っている。水俣市チームの同大会への出場は今年で連続八回目。昨年の水俣市民大会男子の部で優勝した葛渡地区チームを中心に、二十四人の訪問団(溝口時雄団長)を編成した。六月十四日から三日間開かれる国際大会では、こぎ手十八人、カジ、大鼓、ゴールでの旗取り各一人の計二十一人が四百呎コースに挑戦する。

練習は日曜日を除く毎日、会社勤めを終えた午後六時から約一時間半。五月からは袋湾で実践を想定したこぎに入っている。「本場の舟で練習して力をつけて」と台湾から贈られたドラゴンボートはへ先に勇壮な龍頭がかたどられている。「カイの大きさなども水俣市民大会で使われるものと違うため、慣れるのに時間はかかる」と吉野幸男監督(右)は話しているが、最近低迷している国際大会での成績アップを狙っている。

水俣市チーム

六月に台湾で開かれる国際ドラゴンボート(競り舟)大会に出場する水俣市チームが、練習に汗を流している。

本場のドラゴンボートで猛練習

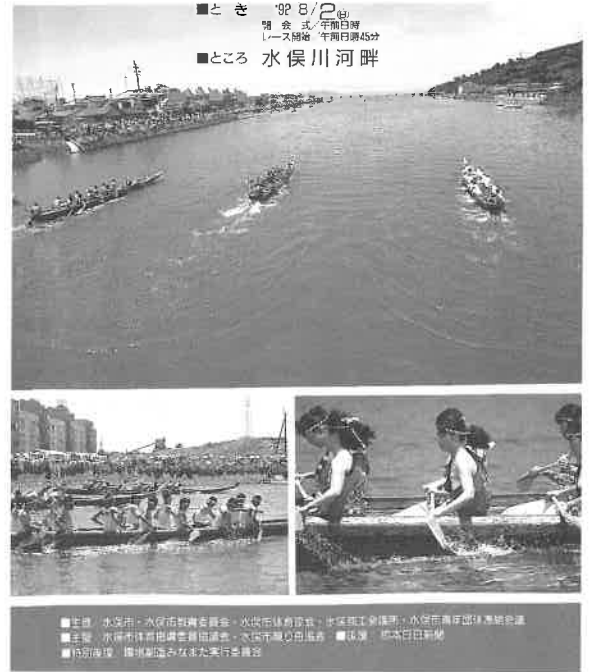
# 第17回大会 1992年 (平成4年)

## 第17回大会成績

男子	優勝	中華民国	2分29秒1	女子	優勝	香港	1分23秒5
	準優勝	葛渡堂	2分31秒0		準優勝	中華民国	1分26秒2
	三位	湯堂	2分33秒0		三位	新栄合板	1分27秒2



## 水俣国際親善 競り舟大会



### 水俣国際親善・17回市民競り舟大会成績一覧表

#### 男子の部

順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	中華民国	2.29.1	左 同
2	葛渡堂	2.31.0	左 同
3	湯堂	2.33.0	左 同
4	水光社	2.42.0	2.37.9
5	香港	2.39.2	左 同
6	センコーグループ	2.39.5	2.36.5
7	宝川内	2.41.8	左 同
8	南福寺	2.43.0	2.39.1
9	深川	2.44.6	2.38.5
10	新栄合板	2.45.2	2.41.9
11	20区	2.46.9	2.44.8
12	18区	2.47.0	2.42.5
13	22区	2.47.4	2.45.5
14	21区	2.48.5	2.42.9
15	3区	2.48.5	2.39.3
16	クロックス	2.51.7	2.44.9
17	4区	2.40.3	左 同
18	御所浦	2.43.0	左 同
19	医療センターA	2.43.3	左 同
20	ふくろ	2.44.8	左 同
21	水東	2.45.4	左 同
22	16区	2.46.4	左 同
23	大園中央商店会	2.46.5	左 同
24	市農林水産課	2.47.3	左 同
25	7区	2.47.5	左 同
26	大川	2.48.5	2.47.7
27	水道局	2.49.2	左 同
28	市渡瀬	2.49.5	左 同
29	湯出	2.53.5	2.51.1
30	分団長OB会	2.56.5	2.55.5
31	くぎの	2.56.9	2.52.5
32	浜2区	2.57.9	2.52.0
33	石坂川	2.48.8	左 同
34	牧ノ内	2.52.1	左 同
35	葛渡A	2.53.3	左 同
36	水俣OB会	2.57.4	左 同
37	19区	2.59.2	左 同

順位	チーム名	タイム	最高タイム
38	越小場	3.00.1	左 同
39	5区平町	3.00.6	左 同
40	青年会議所	3.00.6	左 同
41	水俣民商会	3.02.0	左 同
42	熊本県職	3.02.3	左 同
43	医療センターB	3.04.0	左 同
44	湯ノ児病院	3.04.1	左 同
45	市役所	3.06.0	左 同
46	肥後銀行	3.08.2	左 同
47	N T 水俣	3.08.3	左 同
48	郵便局	3.09.0	左 同
49	水俣一小	3.14.1	左 同
50	紫水寮	3.14.8	3.05.3
51	機月	3.19.6	3.15.0
52	泰山寮	3.19.7	3.18.3
53	信用金庫	3.25.8	3.21.8

#### 女子の部

順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	香港	1.43.0	左 同
2	中華民国	1.46.9	左 同
3	新栄合板	1.48.3	左 同
4	石坂川	1.50.4	左 同
5	7区	1.53.6	左 同
6	22区	1.54.5	左 同
7	深川	1.55.1	左 同
8	3区	1.55.8	左 同
9	医療センター	1.59.8	左 同
10	市役所	2.03.0	左 同

#### 招待レースの部

順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	市議会議	3.05.8	左 同
2	一新栄会	3.17.9	左 同
3	済商會	3.18.9	左 同
4	商工會議所	3.19.8	左 同
5	留學生	3.37.9	左 同

今年の競り舟大会は水俣国際親善・第17回市民競り舟大会と銘打って、中華民国・香港より男女それぞれ1チームずつの参加を得て、8月2日、国際色豊かに開催されました。

5チームの計68チームあり、終りに加え、熊本市在住の済々僇O

## 凱歌は男・女とも国際チーム

### 男子・中華民国 女子・香港

### 水俣国際親善 第17回市民競り舟大会

午前8時開会式。岡田稔久大会長(市長)のあいさつあり、国際チームの紹介と代表あいさつがあり、前年度優勝の男子・中華民国、女子・深川合同での選手宣誓で大会の火ぶたがきって落とされました。

8時45分、男子一回戦よりレースが開始され実力伯仲の熱戦の展開でした。熱い戦いが進み決勝レースに進出したのは中華民国、葛渡、湯堂、水光社の4チーム。観衆の盛んな歓声を浴びてのレースは前年に引き続き中華民国に凱歌が上がりました。

女子の部は若さにもまざる国際チームが圧倒的な強さで他を寄せつけず、一位・二位を独占し、観衆のため息を招いていました。夜は、中華民国・香港の役員選手団を交えて歓迎レセプションが催され、国際色豊かな交流で、多大な成果を収めて本大会

今年の競り舟大会に真新しい目にも鮮やかな競り舟二艇がデビューしたのを「存じの方も大いと思います。」

このせり舟は吉くじの助成を受け、建造されたもので、舟の名前をそれぞれ「やはす」「きれい」と命名されました。

この宝くじ助成によるせり舟建造も今回で三回となり、計八艇(内三艇は子供用ドラゴン艇)となりそれぞれ活躍をしております。

写真は建造され進水したばかりの、やはす号ときれい号。

## 競り舟二艇建造

が盛大なうち終了致しました。上位入賞は次のとおり

男子の部 優勝 中華民国 二位 葛渡

女子の部 優勝 香港 二位 中華民国 三位 新栄合板



1992年  
(平成4年)



台湾新店市女子チーム



香港男・女チーム

## チームワーク生かし ことしこそ優勝だ



大会に向かって練習を続ける水俣市の競り舟チーム

### 昨年は準優勝

(国際部門)

台湾で開かれる競り舟の「中正カヌー龍舟大会」(六月四、五日)に今年も水俣市の代表チームが出場する。昨年は国際部門で五年ぶり三度目の準優勝を飾り、「ここ数年の成績不振のうっぶんを晴らした。今年こそ優勝だ」と地元の期待も高まっており、選手たちはやる気満々だ。

代表チームは、寺本巧・同市教育長を団長に二十四人で、昨年の同市競り舟大会で優勝した湯堂チームを中心に編成している。こぎ手の選手十九人の平均年齢は三十四歳で、例年に比べて高めののがマイナスマイルだが、それを補うチームワークが今年の特徴という。四月下旬から袋湾で練習を始め、いよいよ仕上げの段階。太鼓の音に合わせてこぎ手の表情も厳しさを増してきた。荒木薫監督は「選手は競り舟に乗って十五十七年のベテランばかり。本番ではリズム感のある権(かい)さばきを人に見せてくれるはず」と話している。

代表チームは六月二日、水俣市を出発する。

## 競り舟の水俣市代表 来月の台湾「龍舟大会」に出場

## 今年こそ、優勝狙う

国際龍舟(ドラゴンボート)競技大会に出場する

### 水俣市選抜競り舟チーム

大会は六月四、五日、台湾・台北市で開催され、水俣市は今年で九回目の招待参加。地元の水俣やオーストラリア、香港など十チーム前後が参加する国際部門に出場する。昨年は準優勝の実績を残しており、優勝の期待がかかる。日曜日を除く毎夕、袋湾で懸命の練習に汗を流している。

選抜チームは昨年八月の市民競り舟大会・男子部門(五十一チーム参加)で優勝した湯堂地区チームを中心に編成。こぎ手十八人にかじ取り、太鼓打ちなどを加え計二十一人。長崎ペーロンをルー



ツとする十七人乗りの競り舟と比べて大きく、一昨年、台北市体育協会が寄贈してくれた本場のドラゴンボートで四月中旬から特訓を始めた。

こぎ手の平均年齢は三十四歳。幾分、高齢化が気になるが、メンバーは



袋湾で練習に励む選抜競り舟チーム

自営の仕事や会社勤めをやり繰りして練習に参加。午後六時半から日が暮れるまでの約一時間三十分、短時間ながらも精力的な練習でチームワークがまとまりつつある。

大会のライバルは前年優勝のオーストラリア海兵隊チーム。荒木薫監督は「体力や腕力では負けるが、息の合ったこぎで勝負が決まる。練習で培った平常心を失わずにこぎ出すことが出来れば、優勝も夢ではない。みんな、やる気に燃えています」と張り切っている。



# 第18回大会 (平成5年) 1993年



高期待を一身に受ける力漕

## 第18回・市民競り舟大会成績一覧表

男子の部			
順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	台湾新店市	2' 23" 5	2' 23" 5
2	センコー	2' 26" 2	2' 26" 2
3	台湾警察隊	2' 27" 2	2' 23" 9
4	湯 渡	2' 29" 2	2' 24" 6
5	葛 渡	2' 25" 1	2' 23" 6
6	津奈木海龍	2' 27" 0	2' 27" 0
7	新栄合板	2' 30" 6	2' 30" 6
8	4 区	2' 30" 7	2' 30" 7
9	宝 川 区	2' 33" 2	2' 33" 2
10	20 区	2' 37" 4	2' 37" 4
11	湯 出	2' 38" 0	2' 38" 0
12	深 川	2' 38" 4	2' 35" 7
13	21 区	2' 38" 7	2' 38" 7
14	大 川	2' 44" 4	2' 38" 4
15	石 坂 川	2' 45" 6	2' 36" 3
16	水 光 社	2' 30" 6	2' 30" 6
17	ふ く ろ	2' 31" 8	2' 31" 8
18	3 区	2' 38" 3	2' 38" 3
19	原 精 機	2' 38" 8	2' 38" 8
20	大國中央商店会	2' 39" 6	2' 38" 6
21	16 区	2' 40" 2	2' 40" 2
22	南 福 寺	2' 40" 6	2' 40" 6
23	水 東	2' 42" 1	2' 42" 1
24	葛 渡 A	2' 42" 3	2' 42" 3
25	1 区	2' 43" 2	2' 43" 2
26	市 渡 瀬	2' 44" 6	2' 40" 1
27	7 区	2' 45" 7	2' 45" 7
28	水 俣 O B 会	2' 46" 0	2' 44" 8
29	沢 井 建設	2' 46" 1	2' 46" 0
30	く き の 7	2' 53" 9	2' 53" 7
31	新 撰 組	2' 57" 2	2' 51" 3
32	18 区	2' 41" 6	2' 41" 6
33	5 区 平 町	2' 42" 1	2' 42" 1
34	22 区	2' 42" 6	2' 42" 6
35	水 俣 一 小	2' 45" 9	2' 45" 9
36	浜 2 区	2' 47" 1	2' 47" 1

順位	チーム名	タイム	最高タイム
37	越 小 場	2' 47" 5	2' 47" 5
38	かんばんかめさん	2' 48" 2	2' 48" 2
39	熊 本 泉 職	2' 48" 5	2' 48" 5
40	19 区	2' 50" 4	2' 50" 4
41	市 役 所	2' 50" 5	2' 50" 5
42	湯 の 児 病 院	2' 51" 1	2' 51" 1
43	崇 水 寮	2' 51" 2	2' 49" 8
44	N T T	2' 53" 9	2' 53" 9
45	医療センターA	2' 57" 4	2' 55" 9
46	おやじの焼酎	2' 59" 7	2' 59" 7
47	泰 山 寮	3' 00" 6	3' 00" 6
48	医療センターB	3' 00" 9	3' 00" 9
49	水俣郵便局	3' 01" 2	2' 56" 6
50	肥 後 銀 行	3' 01" 5	3' 01" 5

女子の部			
順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	台湾新店市	1' 41" 1	1' 41" 1
2	22 区 女 子	1' 47" 8	1' 47" 5
3	7 区 女 子	1' 48" 9	1' 48" 7
4	石 坂 川 女 子	1' 50" 7	1' 50" 7
5	深 川 女 子	1' 50" 8	1' 50" 3
6	3 区 女 子	1' 53" 5	1' 53" 2
7	ゆうひらレディース	1' 54" 6	1' 54" 6
8	給食センター	1' 54" 3	1' 54" 3
9	湯の児病院女子	1' 59" 2	1' 59" 2
10	市役所女子	2' 05" 3	2' 05" 3
11	医療センター女子	2' 07" 8	2' 07" 8

招待レースの部			
順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	市 議 会	3' 00" 8	3' 00" 8
2	商 工 会 議 所	3' 04" 3	3' 04" 3
3	一 新 会	3' 04" 6	3' 04" 6
4	留 学 生	3' 10" 9	3' 10" 9

## 真夏の風物詩

### 台湾招待チーム栄冠を独占 男子・新店市 女子・台北市教育局

#### 市民競り舟大会

七月二十五日(日)第十八回市民競り舟大会が水俣川河畔において開催されました。今年も、長年のため各チームの招待チームを入れ、男子五、女子十一チーム、多数の市民の応援で盛り上がり、練習もできず、コンディション〇チーム、女子十一チームオーを見せました。

午前九時三十分の開会式には、台湾の新店市及び台北市から、男子五、女子十一チームの合計十六チームも合わせて四チームの合計六チーム旗を先頭に全チームが集まり、主権者のあいさつ後、国民隊の代表がチーム紹介を行いました。二三年は台湾チームが上位を占め、水俣でも、台湾チームの漕ぎ方へ近づけようという漕ぎ方を示しているチームも見られ、その先鋒センコーが準優勝したことに、更に漕ぎ方競争があることと、一方、女子は本年度から敗者復活戦を設け、最低一回は漕ぎることになり、各チーム力を入れましたが本年も地元チームは外国招待チームに勝てず涙をのむ結果となりました。上位入賞は次の通りです。

- 男子チーム
- 優勝、新店市
- 二位、センコー
- 三位、台北市警察隊
- 四位、湯 渡
- 女子チーム
- 優勝、台北市教育局
- 二位、22 区
- 三位、7 区



鈴なりの観客席



葛渡チームが二度目の台湾遠征をする事になり、六月二十二日より二十六日迄の四泊五日の日程で次の二十四名のメンバーで参加して来ました。

団長 山内健治 副団長 島本康藤、監督 前川広満、コーチ 松本公昭、会計 松本富人、選手 千々岩哲也、真野昭昭、淵上稔、松本道高、松本良夫、小島久、千々岩広臣、福田啓三、

日本(水俣)チームはまだ一度優勝は無く、葛渡は前回準大会参加十回目のこの大会になんとか優勝をと頑張って練習に励み、二十三日と二十四日の試合に望みました。

(団長の他は全員兼選手)



国際部門のチームは、カナダ、イギリス、ドイツ、フィリピン、留学生二チーム、学生チーム、日本の八チームで、試合は四百mの距離を二チーム各一回、コースを変えて二レースの合計タイムで競います。

二十三日の一回戦はドイツと対戦し、惜しくも敗退。敗者復活戦にて「真空管(学生)チーム」とあり優勝、午後は敗者二

回目で、師大語中心(留学生)チームに、接戦で敗退、五位返が入賞と云う事で、二十四日フイリピンチームと五位決定戦に臨むも残念ながら敗れ、六位と云う悪い成績に終わってしまいました。

これからは筋力トレーニングなどでもっと力をつけ、ピッチ漕法の練習をした方が良いと思います。

健康づくり

# 第18回 競り舟大会

水俣市民

期と き '93 7/25(日)

開 会 式 / 午前9時30分  
レース開始 / 午前10時30分

■ ところ 水俣川河畔



## 第18回大会成績

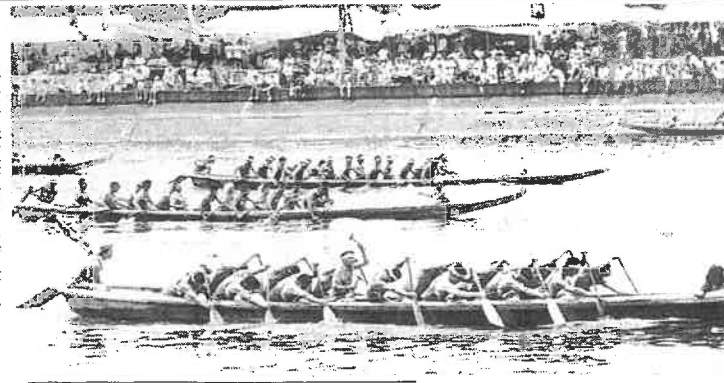
男子			
優勝	中華民國(新店市)	2分23秒5	
準優勝	センコー	2分26秒2	
三位	中華民國(警察隊)	2分27秒2	
女子			
優勝	中華民國(台北市)	1分41秒5	
準優勝	22 区	1分47秒7	
三位	7 区 女子	1分48秒4	

# 第19回大会 (1994年 平成6年)

(第3種郵便物認可)

## 第19回大会成績

男子	優勝	センコー	2分24秒5
	準優勝	湯堂	2分24秒7
	三位	津奈木海龍	2分25秒4
女子	優勝	台湾台北市	1分39秒1
	準優勝	4区女子	1分43秒4
	三位	合板女子	1分44秒4



観衆の応援を受けながら力漕する選手たち(水俣川河口)



力強いレースの始まり

### 競り舟大会

## センコー初優勝

### 決勝レースは激戦

水俣の夏を告げる風物詩、市市民競り舟大会、七月三十一日、参加チームも第一回大会の十快晴の水俣川河口で招待を含む、八チームから、昭和五十七年に六十二チームが熱戦を繰り広げ、一次減少したものの、それ以後、

は招待を含む六十チーム以上、参加、女子は昨年に引き続き白が参加するようになり、今年台湾からは、昨年、開会式終了後、11時からレース、優勝は四年ぶり、地元チームの、

は招待を含む六十チーム以上、参加、女子は昨年に引き続き白が参加するようになり、今年台湾からは、昨年、開会式終了後、11時からレース、優勝は四年ぶり、地元チームの、

### 57チーム力漕競り舟大会

水俣市

子十)が声援を受けながら力漕(そう)した。レースは男子五百人、女子三百人の直線コースで、イムを競うトーナメント方式。職場や地区ごとに編成、伊川河口で開かれ、台湾からの招待チームを含む五十七チーム(男子四十七、女

# 夏イベント 多彩に

五時間に及ぶ熱戦の結果、男子はセンコーが地元勢としては四年ぶりに優勝、女子は台湾の台北市女教師チームが優勝した。他の成績は次の通り。  
 ▼男子①湯堂②津奈木海龍③合板④七区



### 第19回・市民競り舟大会成績一覧表

順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	センコー	2'24"5	2'24"5
2	湯堂	2'24"7	2'24"7
3	津奈木海龍	2'25"4	2'23"6
4	台湾三合	2'27"1	2'24"4
5	新光栄	2'28"7	2'28"7
6	水光	2'30"5	2'29"0
7	4区	2'32"7	2'31"7
8	大川	2'32"8	2'32"7
9	20区	2'33"6	2'33"6
10	18区	2'34"2	2'29"1
11	湯堂	2'35"1	2'35"1
12	南福	2'35"5	2'27"7
13	水俣OB	2'38"9	2'37"0
14	葛渡	2'25"9	2'25"9
15	深川	2'30"8	2'30"8
16	ふくろ	2'32"0	2'31"2
17	22区	2'34"9	2'34"9
18	21区	2'36"3	2'36"3
19	宝川	2'37"0	2'30"8
20	16区	2'37"4	2'37"4
21	水東	2'38"5	2'37"4
22	大園中央商店会	2'39"3	2'39"3
23	葛渡クラブ	2'39"5	2'39"5
24	くまの	2'39"5	2'39"5
25	19区	2'39"8	2'35"6
26	原精機	2'41"0	2'37"1
27	新撰	2'44"5	2'42"5
28	7区	2'48"5	3'40"4
29	市液	2'56"2	2'50"6
30	石坂	2'40"5	2'40"5
31	越区	2'41"3	2'41"3
32	5区	2'42"5	2'39"8
33	総合医療センターA	2'43"4	2'43"4
34	水俣一小	2'44"3	2'44"3
35	熊本	2'45"7	2'45"7
36	農林水産	2'46"2	2'41"2
37	3区	2'46"7	2'45"8
38	おやじの焼酎	2'49"2	2'49"2

順位	チーム名	タイム	最高タイム
39	浜2区	2'49"3	2'48"7
40	1区	2'49"9	2'44"5
41	湯の児病院	2'53"4	2'51"0
42	N T T	2'51"5	2'50"7
43	チッソ紫水寮	2'52"2	2'48"5
44	チッソみなまた	2'54"2	2'54"2
45	チッソ泰山寮	2'56"3	2'56"3
46	市役所	2'56"5	2'56"5
47	総合医療センターB	2'56"9	2'56"9

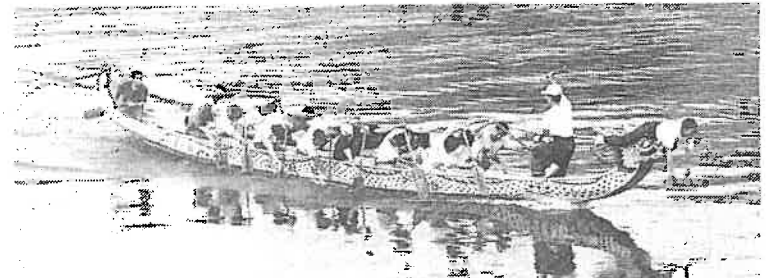
順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	台北市女教師	1'39"1	1'38"6
2	4区女子	1'43"4	1'42"8
3	合板女子	1'44"4	1'40"0
4	7区女子	1'49"0	1'47"1
5	給食センター	1'51"4	1'50"8
6	3区女子	1'52"1	1'50"0
7	大園・深水医院	1'50"5	1'50"5
8	湯の児病院女子	1'51"7	1'51"7
9	市役所女子	1'52"5	1'52"5
10	総合医療センター女子	1'57"5	1'57"5

順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	市議	2'46"7	7
2	市役所一新	2'47"9	9
3	アジア21世紀	2'54"6	6
4	水俣商工	2'57"1	1
5	留学	3'02"4	4

(○印 トビ賞)

## 仕上がり順調 ドラゴンボート

——水俣市チーム、ことしも台湾大会へ



水俣川で練習に励む水俣市チーム

二十三日から二日間、台湾台北市で開かれるドラゴンボート(競り舟)大会、水俣市チームが、毎夕練習に励んでいる。

同チームの同大会への参加は今年で連続十回目。昨年の市民競り舟大会男子部門で優勝の葛渡チームを中心に補強編成した。こぎ手十八人、かじ、旗取り、太鼓たたき各一人の計二十一人がメンバー。

練習は日曜を除く毎日、水俣川河口などで行われている。競り舟は一昨年、台北市体育協会長らから贈られたドラゴンボートで、本番用と同タイプ。仕事を終えた選手たちが午後六時ごろから約二時間、みっちり汗を流している。

葛渡チームは一昨年と同じ国際部門に出場、二位に入賞しているだけに「レース動はあるし、練習の仕上がりも上々。チームワークで今年も上位を狙う」と前川広満監督(○)は話している。

# 第20回大会 1995年 (平成7年)



「市民競り舟大会」  
1秒を争う接戦が繰り広げられた水俣市の「市民競り舟大会」

## 水俣市で「市民競り舟大会」 川面にはじける水しぶき 56チームが白熱のレース

水俣市の水俣川河口で三十一日、恒例の「市民競り舟大会」があり、市内の企業や地域などから男女五十六チームが参加した。今年は大変復活して二十周年。

選手らの熱気もみじお。炎天下に白熱したレースが繰り、川面に詰め掛けた三千人の市民、観客を沸かせた。

写眞にも川面を渡るする競り舟は、かねの音に合わせて十四人の「ぎ手」が漕（か）いで競り進む。最速のペース競走にも似て、船長の漕がりや舵手（たし）との連携も速での移りだ。

五百メートルで競う男子のタイムは一分五秒から三分ほど。競り舟の水しぶきがはじける川面に観客の熱い声援が飛び交っていた。

決勝戦の盛況タイムは次の通り。

【男子】①センコー(2分29秒) ②津奈木海龍(2分33秒) ③石坂川(2分34秒) ④新栄合板(2分36秒) ⑤女子(2分36秒) ⑥新栄合板(2分36秒) ⑦女子(2分36秒) ⑧新栄合板(2分36秒) ⑨女子(2分36秒) ⑩女子(2分36秒) ⑪女子(2分36秒) ⑫女子(2分36秒) ⑬女子(2分36秒) ⑭女子(2分36秒) ⑮女子(2分36秒) ⑯女子(2分36秒) ⑰女子(2分36秒) ⑱女子(2分36秒) ⑲女子(2分36秒) ⑳女子(2分36秒) ㉑女子(2分36秒) ㉒女子(2分36秒) ㉓女子(2分36秒) ㉔女子(2分36秒) ㉕女子(2分36秒) ㉖女子(2分36秒) ㉗女子(2分36秒) ㉘女子(2分36秒) ㉙女子(2分36秒) ㉚女子(2分36秒) ㉛女子(2分36秒) ㉜女子(2分36秒) ㉝女子(2分36秒) ㉞女子(2分36秒) ㉟女子(2分36秒) ㊱女子(2分36秒) ㊲女子(2分36秒) ㊳女子(2分36秒) ㊴女子(2分36秒) ㊵女子(2分36秒) ㊶女子(2分36秒) ㊷女子(2分36秒) ㊸女子(2分36秒) ㊹女子(2分36秒) ㊺女子(2分36秒)

(第3種郵便物認可)



## 第20回 市民競り舟大会 健康づくり

7/30日  
午前7時  
午後7時40分  
水俣川河口

主催：水俣市・水俣市教育委員会・水俣市体育協会・水俣商工会連合会  
共催：水俣市体育振興委員会・水俣市競り舟協会・後援：熊本日日新聞

### 熊本日日新聞



## 競り舟復活20周年記念健康作り市民競り舟大会成績一覧表

順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	センコー	2'29"7	2'29"7
2	津奈木町海龍	2'33"3	2'32"7
3	石坂川	2'34"3	2'32"3
4	新栄合板	2'36"7	2'34"0
5	湯堂	2'34"9	2'32"3
6	葛渡	2'37"3	2'35"2
7	ふくろ	2'40"1	2'37"1
8	葛渡C	2'41"5	2'37"8
9	南福寺	2'42"0	2'36"9
10	水光社	2'43"3	2'37"5
11	20区	2'46"6	2'42"0
12	宝川内	2'47"6	2'43"5
13	市渡瀬	2'50"7	2'45"5
14	18区	2'40"0	2'39"4
15	大川	2'45"3	2'39"7
16	22区	2'45"8	2'44"2
17	深川	2'46"4	2'45"8
18	4区	2'47"2	2'37"9
19	水東	2'47"4	2'47"4
20	水俣O B会	2'47"8	2'47"8
21	5区平町	2'52"3	2'52"3
22	16区	2'53"3	2'50"4
23	越小場	2'53"4	2'40"2
24	21区	2'54"4	2'50"0
25	19区	2'55"3	2'55"3
26	1区	2'55"6	2'52"0
27	7区	2'56"5	2'49"4
28	医療センターA	2'56"6	2'48"6
29	湯之見病院	3'00"8	2'47"0
30	大園中央商店会	2'54"0	2'51"0
31	湯出	2'54"9	2'47"2
32	くぎの	2'56"8	2'49"5
33	水俣石商	2'58"1	2'58"1

順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	新栄合板	1'49"0	1'47"1
2	4区	1'49"7	1'43"9
3	7区	1'57"7	1'55"0
4	3区	2'01"1	1'58"3
5	湯之見病院	2'01"7	2'01"7
6	医療センター	2'03"7	2'03"3
7	スクールランチ	2'07"7	2'00"0
8	深水医院	2'04"7	2'03"0

順位	チーム名	タイム	最高タイム
1位	市議会	2分53秒5	
2位	水俣商工会議所	3分00秒1	
3位	市役所一新会	3分10秒3	
4位	水俣警察署	3分11秒9	
5位	県内留学生	3分43秒4	

観衆の声援を受け、カネの音に合わせて力漕する選手たち＝水俣川河口

## カネの音、水しぶき… 水俣市名物

# 競り舟

水俣市の真夏の恒例行事、健康づくり市民競り舟大会(市など主催)が三十日、水俣川河口であり、外国人留学生の招待を含む六十一チームが白熱のレースを展開した。

水俣の競り舟大会は、長崎名物のペーロン競漕(きようそく)の流れをくみ、百年近い伝統を誇る市民イベント。昭和三十年代一時中断したが、同五十一年に地域の若者たちの手で復活した。今年も復活二十周年の記念大会。

男子は五百人、女子は三十人ほどの直線コースで、カネの音に合わせて、ぎ手が懸命に力漕する姿は勇壮なもの。川の両岸は三千人近い市民で埋まり、水しぶきをあげて進む各艇に大声援を送っていた。大熱戦の末、男子はセンコーチームが二連覇を達成、女子は新栄合板チームが優勝した。



### 第20回大会成績

男子	優勝	タイム	最高タイム
優	センコー	2分29秒7	
準優	津奈木海龍	2分33秒3	
三位	石坂川	2分34秒3	

女子	優勝	タイム	最高タイム
優	新栄合板女子	1分49秒0	
準優	4区女子	1分49秒7	
三位	7区女子	1分57秒7	

# 第21回大会 (平成8年) 1996年

## 第21回大会成績

男子	優勝	津奈木海龍	1分25秒9
	準優勝	湯堂	1分29秒7
	三位	石坂川	1分30秒3
女子	優勝	4区女子	1分47秒9
	準優勝	新栄合板女子	1分47秒9
	三位	大園&深水医院選抜	1分55秒9



炎天下にもめげず力強い漕ぎ

## 第21回健康づくり市民競り舟大会成績一覧表

### 男子レース

順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	津奈木海龍	1' 25" 9	1' 25" 9
2	湯堂	1' 29" 7	1' 29" 3
3	石坂川	1' 30" 3	1' 29" 2
4	宝川内	1' 31" 2	1' 31" 0
5	袋	1' 29" 4	1' 29" 4
6	センコーグループ	1' 29" 6	1' 29" 6
7	新栄合板	1' 29" 9	1' 29" 9
8	水光社	1' 30" 9	1' 30" 9
9	18区	1' 32" 7	1' 32" 6
10	四区	1' 32" 8	1' 31" 6
11	水俣O B会	1' 33" 8	1' 33" 8
12	大川	1' 35" 6	1' 34" 7
13	深川	1' 35" 8	1' 33" 8
14	葛渡	1' 35" 8	1' 34" 7
15	水東	1' 39" 0	1' 34" 7
16	くぎの	1' 41" 5	1' 38" 5
17	三区	1' 34" 3	1' 34" 3
18	しらと会	1' 35" 3	1' 35" 3
19	22区	1' 36" 0	1' 35" 9
20	南福寺	1' 36" 3	1' 36" 3
21	20区	1' 36" 4	1' 36" 4
22	湯之見病院	1' 38" 1	1' 38" 1
23	越小場	1' 39" 9	1' 38" 3
24	水道局	1' 42" 7	1' 39" 2
25	16区	1' 43" 7	1' 40" 5
26	チッソ紫水寮	1' 44" 3	1' 42" 6
27	新撰組マリイズ	1' 44" 8	1' 42" 9
28	一区	1' 45" 6	1' 40" 7
29	N T T水俣	1' 46" 6	1' 45" 4
30	医療センター	1' 48" 6	1' 46" 1
31	市渡瀬	1' 36" 3	1' 36" 3
32	県芦北事務所	1' 39" 4	1' 39" 4
33	七区	1' 39" 6	1' 39" 6

順位	チーム名	タイム	最高タイム
34	21区	1' 39" 8	1' 39" 8
35	大園中央商店会	1' 41" 8	1' 41" 8
36	19区	1' 43" 7	1' 43" 7
37	5区平町	1' 44" 3	1' 44" 3
38	浜二区	1' 44" 9	1' 44" 9
39	市役所	1' 45" 4	1' 45" 4
40	おやじの焼酎	1' 45" 6	1' 45" 6
41	水俣第一小学校	1' 46" 2	1' 46" 2
42	山の会かんでら	1' 47" 4	1' 47" 4
43	熊本県職	1' 47" 5	1' 47" 5
44	熊本中央信用金庫	1' 48" 3	1' 48" 3
45	医療センターB	1' 51" 3	1' 51" 3
46	チッソ泰山寮	1' 54" 8	1' 53" 8
47	葛渡クラブ		1' 57" 8

### 女子レース

順位	チーム名	タイム	最高タイム
1	四区女子	1' 47" 9	1' 47" 9
2	新栄合板女子	1' 47" 9	1' 47" 9
3	大園&深水医院選抜	1' 55" 9	1' 55" 9
4	七区女子	1' 57" 6	1' 57" 6
5	三区女子	1' 55" 7	1' 55" 7
6	深川女子	1' 59" 6	1' 59" 6
7	大川女子	2' 01" 3	2' 01" 3
8	湯之見病院	2' 02" 7	2' 02" 7
9	医療センターA	2' 10" 3	2' 09" 5
10	医療センターB	2' 20" 6	2' 20" 6

### 来賓招待レース

一位	市議会議員チーム	1分43秒1
二位	商工会議所チーム	1分43秒3
三位	市役所一新会チーム	1分47秒4
四位	ボーイスカウト指導者チーム	1分51秒8
五位	県内留學生チーム	2分06秒7

# 津奈木海龍 初優勝!!

## 第21回健康づくり市民競り舟大会

真夏の祭典、第二十一回健康づくり市民競り舟大会が、八月四日(日)快晴の水俣川河口において、招待を含む男女六十二チームが参加して開催されました。吉井正澄大会々長の開会挨拶

奈木海龍、湯堂、石坂川、宝川、上位入賞は次のとおりです。

男子の部	女子の部
優勝 津奈木海龍	優勝 四区女子
準優勝 湯堂	準優勝 新栄合板
三位 石坂川	三位 大園深水医院選抜
四位 宝川内	四位 宝川内
	五位 七区女子



# 第22回大会 (平成9年) 1997年

## 第22回大会成績

男子	優勝	津奈木海龍	1分26秒3	女子	優勝	4区女子	1分48秒7
	準優勝	センコーグループ	1分29秒3		準優勝	新栄レディース	1分52秒5
	三位	ゆうひら	1分31秒4		三位	大園&深水医院選抜	1分57秒6

1カ月後に迫った大会に向け本格的な練習に入った水俣女子チーム＝同市丸島新港



## 来月開催 ドラゴンボート選手権

台湾・台北市で六月に(全)がメンバーに打診し開かれる「九七年ドラゴンボートフェスティバル」に水俣市の女子チームが初出場することになり、同市丸島新港で練習に励んでいる。出場するのは、同市の夏風物詩「市民競り舟大会」の昨年の覇者「丸島」を母体とした「日本水俣女子国際隊」選手は交代要員も含め二十五歳から六十歳までの二十二年、平均年齢四十四歳、米、韓国、臺灣、香港などのベテランチームだ。同市の男子チームが十四年前、長崎ペーロンチームの代役として同選手権に参加したが、今年からは毎年、男女チームへのカンパを受け付けて出場の招待がきていた。問い合わせは、岩が、女子の出場は実現しなかった。今回は男子チームが不参加になり「丸島」の島本康藤監督 300へ。

# 水俣の女子チーム、初の台湾遠征

## 選手22人、練習に熱気



来年は本レースにチャレンジか？(招待レース)

## 第22回健康づくり市民競り舟大会成績一覧表

### 男子の部

順位	チーム名	タイム	最高タイム
決1	津奈木海龍	1'26"3	1'26"3
2	センコーグループ	1'29"3	1'28"9
3	ゆうひら	1'31"4	1'28"9
4	南福寺	1'32"7	1'32"4
5	4区(男)	1'32"3	1'32"3
6	新栄合板	1'32"5	1'31"5
7	宝川内	1'33"5	1'31"9
8	石坂川	1'33"5	1'32"8
9	台北市	1'33"6	1'33"6
10	ふくろ	1'35"9	1'32"6
11	深川	1'36"4	1'34"6
12	葛渡	1'37"4	1'33"4
13	大川	1'38"6	1'33"4
14	3区	1'38"8	1'36"6
15	18区	1'39"2	1'35"4
16	水東	1'41"0	1'35"2
17	水光社	1'35"0	1'34"7
18	しらと会	1'35"4	1'35"4
19	水俣OB会	1'35"9	1'35"9
20	さわやか	1'38"6	1'36"4
21	市渡瀬	1'40"2	1'36"3
22	大園中央商店会	1'40"6	1'40"2
23	21区	1'40"8	1'39"2
24	葛渡A	1'41"1	1'39"6
25	医療センター男子A	1'41"2	1'40"1
26	いちわたせ銀杏会	1'42"3	1'39"7
27	7区	1'43"9	1'41"2
28	1区	1'44"2	1'40"4
29	湯之見病院(男)	1'46"3	1'41"7
30	熊本県職	1'53"0	1'50"7
31	22区	1'40"0	1'40"0
32	16区	1'40"2	1'38"9
33	久木野	1'40"4	1'40"4

順位	チーム名	タイム	最高タイム
34	五区平町	1'42"9	1'42"9
35	19区	1'43"1	1'43"1
敗36	N T T水俣	1'45"4	1'45"4
37	浜二区	1'45"9	1'44"1
38	チッソ紫水寮	1'46"6	1'45"9
39	おやじの焼酎	1'46"8	1'46"8
40	市役所	1'46"9	1'46"1
41	山の会かんてら	1'47"1	1'44"7
42	チッソ泰山寮	1'51"9	1'48"8
43	医療センター男子B	1'52"5	1'51"9
44	元気よかノ	1'53"4	1'46"3
45	水俣第一小学校	1'54"7	1'54"7
46	熊本県北事務所	2'13"2	1'45"6

### 女子の部

順位	チーム名	タイム	最高タイム
決1	4区(女)	1'48"7	1'45"9
2	新栄レディース	1'52"5	1'48"6
3	大園&深水医院選抜	1'57"6	1'53"4
4	7区女子	2'01"0	1'57"2
5	深川女子	1'58"9	1'55"4
6	大川女子	2'04"7	1'59"3
7	医療センター女子A	2'06"4	1'59"8
8	湯之見病院(女)	2'09"8	2'02"6
9	3区女子	2'01"5	2'01"5
10	市役所女子	2'16"6	2'14"2
11	医療センターB	2'17"6	2'06"9

### 招待の部

1位	水俣市議会議員	1分49秒6
2位	水俣市役所一新会	1分54秒4
3位	ごな倶楽部	1分56秒8
4位	水俣東京農&チャンブルズ	2分07秒5

第二十二回健康づくり市民競り舟大会が、七月二十七日(日)に前日までの台風の影響をいや受け、水俣川河口において、今にも川の中へと飛

て、招待を含む六十一チームが参加して開催されました。吉井正澄大会会長の挨拶のあと、午前十一時三十分よりレースが始まりましたが、昨年からの三百メートルに短縮されたレースのため、熱戦・接戦が続き、応援席からは、我がチームの勝利を信じ、今にも川の中へと飛

び込まんばかりの熱い応援をする人も多数見受けられました。決勝戦では、津奈木海龍(男子の部)、四区女子(女子の部)の連覇阻止をねらい勝ち上がったチームが、紙一重の白熱したレースを見せてくれました。成績は、別表のとおりです。

## 第22回健康づくり市民競り舟大会

# 津奈木海龍・四区女子連覇

1997年  
(平成9年)

平成9年(1997年)4月11日 金曜日

熊 本 日 日 新 聞

## 台湾マスターズ卓球隊 27人が水俣入り 13日まで 市民と交流

台湾の台北市体育文化協会(吳文達会長)のマスターズ卓球隊(高玉順代表)の一行二十七人が十日、水俣市を訪れた。全員五十歳



吉井市長らの歓迎を受ける卓球隊の一行

以上で、十三日まで滞在。市卓球協会(橋本幸生会長、三十五人)との親善大会などを通して市民と交流する。

一行は福岡空港からバスで水俣市役所に到着した。長旅の疲れも見せず、ホームステイ先の家族と笑顔で対面。吉井市長が「日本で

の家庭生活を楽しんでください」と歓迎の言葉を述べた。

ムとコーラス隊が訪台した。

ラケットとグラスで水俣市民と交流親善  
台湾の卓球隊  
台湾の台北市体育文化協会のマスターズ卓球隊(高玉順代表)と水俣市卓球協会(橋本幸生会長)の交流親善大会が十二日、水俣市中央公園の市総合体育館で行われ、親ぼくを深めた。開会式では、水俣国際交

流協会副会長の有村助役らの歓迎のあいさつの後、両チームの選手が記念品を交換した。大会は団体戦、個人戦であり、最年少が四十七歳という台北チームは旅の疲れが出たのか、成績は水俣勢の優勢に終わった。

大会後は、同市明神町の観光物産館「まっぼっくり」で歓迎レセプションが開かれ、一行はラケットをグラスに持ち替え、市民らと交流した。

台北市と水俣市は、競り舟などで交流が続いている。一行は十日夕水俣入りし、水俣国際交流協会の会員宅などにホームステイ。滞在中は、市立水俣病資料館などを見学した。十三日に水俣を離れ、福岡などを

## 第22回 市民競り舟大会 健康づくり

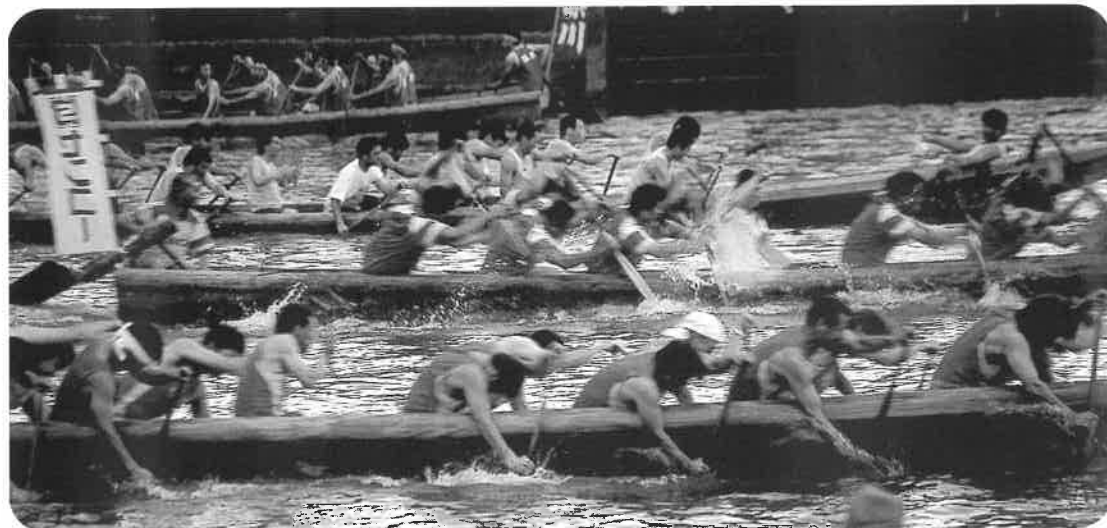


写真提供/山本謙雄氏

■とき 97年7月27日(日)  
開会式/午前10時40分  
レース開始/午前11時30分

■ところ 水俣川河畔

■主催/水俣市・水俣市教育委員会 水俣市体育協会・水俣商工会議所  
■主管/水俣市体育指導委員協議会 水俣市競り舟協会 ■後援/熊本日日新聞社

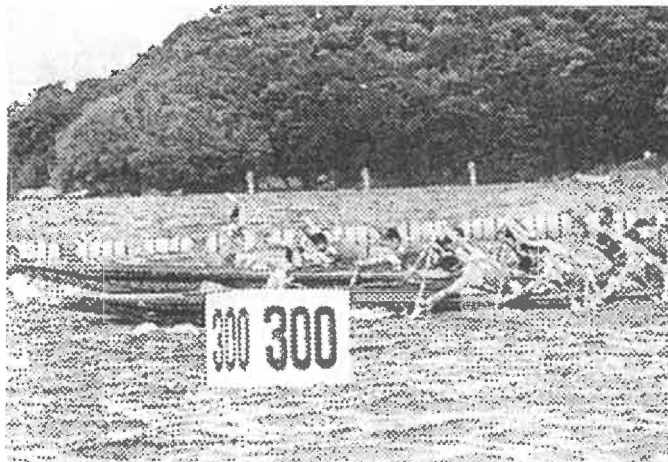


# 第23回大会 1998年 (平成10年)

## 第23回大会成績

男子			
優勝	台北市	1分38秒4	
準優勝	ゆうひら	1分39秒9	
三位	18区	1分42秒5	
女子			
優勝	4区女子	2分06秒7	
準優勝	だれやん	2分16秒8	
三位	大園&深水医院選抜	2分18秒1	

懸命にかいをこぐ選手たち



事。例年は水俣川河口で行っていたが、初の湾内開催となった。企業や地区単位で参加しており、男子44、女子9、台湾・台北市からの親善チームを含む招待6の

水俣市の夏の風物詩、第23回健康づくり市民競り舟大会(市など主催)が26日、水俣湾埋め立て地の親水護岸であり、大勢の市民の歓声が響いた。約100年前に長崎から伝わったとされる伝統行事。

## 元気な歓声響く

### 健康づくり市民競り舟大会

水俣市

みなまた



## 今年は国体カヌー競技場で「競り舟大会」開催

水俣の夏の風物詩、競り舟大会。いつもは水俣川であります。今年は来年実施される「くまもと未来国体イン水俣」のカヌー大会を盛り上げるために水俣湾のカヌー競技場でくりひろげられました。この日はあいにくの雨でしたが、水俣市民が火と燃える水俣の一大イベント「競り舟大会」は各地区各職場対抗の熱戦と応援合戦で大いに盛り上がりました。

来る8月22日(土)から25日(火)まで国体リハーサル大会の一環として日本カヌーフラットウォーターレーシングジュニア選手権大会が開かれます。是非、応援に出掛けましょう。

(関連記事が2・6・16ページにあります)

# 風雨にも負けない力強い櫂さばき

## 第23回健康づくり市民競り舟大会

水俣の夏の風物詩である競り舟大会が七月二十六日、例年行っていた水俣川河口から、来年の「くまもと未来国体カヌー会場」のPRを兼ねて水俣湾親水護岸前に会場を変更して実施されました。

当日は低気圧の影響で時折襲う風雨や波にも負けず、招待チームを含む五十九チームの選手、そして応援方々総勢五千人余りの見守る中、白熱したレースが展開されました。昨年までの穏やかな川とは勝手の違う、海独特のうねりに翻弄されながらも、力強い櫂さばきを見せる各チームに対し護岸に立ち並んだ選手団テントから、熱い声援が送られていました。



第23回健康づくり市民競り舟大会成績一覧表

順位	チーム名	タイム(参考)	順位	チーム名	タイム(参考)	順位	チーム名	タイム(参考)
<b>男子の部</b>								
1	台北市政府教育局男子龍舟隊	1'38"4	21	チッソプラスチック	1'51"5	42	NTT	2'07"0
2	ゆうひら	1'39"9	22	22区	1'51"9	43	市役所B	2'11"9
3	18区	1'42"5	23	5区平町	1'53"4	44	水俣高校潮龍会	2'17"9
4	センコーグループ	1'47"7	24	19区	1'54"5	45	水俣第一小学校	2'32"4
5	水光社	1'40"0	25	水東	1'58"6	<b>女子の部</b>		
6	宝川内	1'42"9	26	湯ノ見病院男子	2'00"2	1	4区女子	2'06"7
7	新栄合板	1'43"7	27	7区	2'00"2	2	だれやん	2'16"8
8	4区男子	1'44"9	28	21区	2'01"0	3	大園&深水医院選抜	2'18"1
9	しらと会	1'46"2	29	市役所A	2'02"4	4	湯ノ見病院女子	2'36"0
10	石坂川12区	1'48"5	30	16区	2'03"3	5	大川女子	2'29"5
11	20区	1'51"8	31	市渡瀬	1'53"8	6	総合医療センター女子A	2'38"2
12	葛渡クラブ	1'52"3	32	1区	1'56"1	7	3区女子	2'44"8
13	南福寺	1'54"0	33	総合医療センター男子A	1'56"3	8	総合医療センター女子B	2'41"6
14	いちわたせ銀杏会	1'58"1	34	大園中央商店会	1'57"3	9	市役所女子	2'52"7
15	深川	2'00"7	35	おやじの焼酎	1'58"3	<b>招待の部</b>		
16	山の会かんてら	2'03"9	36	チッソ泰山寮	2'00"7	1	水俣市議会チーム	2'05"7
17	ふくるチーム	1'44"5	37	熊本県職	2'02"1	2	護衛艦おおよど	2'10"4
18	大川	1'46"0	38	久木野	2'04"3	3	チャンプルス	2'15"8
19	3区	1'49"4	39	総合医療センター男子B	2'04"8	4	ごな倶楽部	2'16"8
20	水俣OB会	1'49"6	40	チッソ紫水寮	2'05"5	5	市役所一新会	2'27"5
			41	浜二区	2'07"0			

## 台湾-日本 網でしっかり結ばれて

7月2日、台湾の台北市明德国民小学校と台北県丹鳳国民中学校の小中学生37人が水俣市立第一小学校を訪れ、網引きの試合を行いました。台湾との交流は、もう10数年にも及び、競り船をはじめ様々な交流の輪が広がっていますが、この「網引き」による小中学生の交流は新たな試み。

試合は、台湾の小学生男女各1チームと第一小学校6年生男女各10チーム、台湾の中学生男女各1チームと袋中女子チームによるそれぞれ男女別トーナメント制で行われました。結果は、袋中女子チームが台湾に一勝し

健闘したものの、小中学校男女とも台湾チームが優勝。台湾からの訪問団は市内の各家庭にホームステイし、お茶の間での交流もはかったということです。



みんなで握手。言葉は通じないけれど、笑顔で心が通じたみたい。



決勝で対戦した6年5組「長嶋巨人軍」チーム「台湾チーム、まじで強かった〜!」「また勝負したい!」



きれいなフォーム。さすが台湾でナンバー2の実力



# 第24回大会 1999年 (平成11年)

## 第24回大会成績

男子	優勝	石坂川	1分20秒2	女子	優勝	4区女子	1分36秒7
	準優勝	新栄合板	1分20秒6		準優勝	大園&深水医院選抜	1分39秒9
	三位	原精機	1分21秒6		三位	だれやん	1分40秒8

## 第25回健康づくり市民競り舟大会成績一覧表

男子の部					女子の部				
順位	チーム名	TIME	最高TIME		順位	チーム名	TIME	最高TIME	
1	センコーグループ	1.24.8	1.24.7	決勝戦	1	台 湾	1.45.4	1.43.8	決勝戦
2	津奈木海龍	1.25.0	〃		2	4 区	1.46.1	1.43.0	
3	石坂川	1.28.3	〃		3	しらとレディース	1.56.5	1.51.6	
4	新栄合板	1.28.9	1.26.8	準決勝	4	7 区	2.02.0	1.59.0	
5	茂道しらと会	1.27.0	〃		5	だれやん	1.49.3	1.48.1	
6	原精機	1.27.1	〃		6	大園深水医院	1.49.8	〃	
7	台 湾	1.27.9	〃		7	21 区	1.59.5	1.51.9	
8	ゆうひら	1.30.6	1.27.6	決勝	8	医療センターA	2.02.2	1.59.0	
9	宝 川内	1.31.8	1.29.5		9	水 東	2.03.5	1.57.5	
10	南 福 寺	1.32.9	1.30.4		10	湯の児病院女子	2.03.7	1.55.6	
11	5 区 平 町	1.33.5	〃		11	3 区 女 子	2.06.6	〃	
12	4 区	1.33.7	1.30.5	二回戦	12	市役所女子	2.08.3	2.03.7	
13	ふくろ	1.36.0	1.30.3		13	医療センター女子B	2.14.3	2.09.4	
14	大 川	1.36.1	1.34.5						
15	葛 渡	1.37.0	1.34.4						
16	大園商店会	1.43.0	1.36.5						
17	18 区	1.31.6	〃						
18	水 光 社	1.33.7	1.31.9						
19	16 区	1.35.4	〃						
20	湯の児病院	1.36.6	〃						
21	水 俣 O B 会	1.36.9	1.35.1						
22	1 区	1.37.0	1.36.6						
23	20 区	1.37.3	1.36.4						
24	医療センターA	1.38.9	〃						
25	深 川	1.38.9	1.35.6						
26	3 区	1.39.1	1.34.1						
27	水 東	1.39.6	1.34.8						
28	市 渡 瀬	1.39.7	1.39.3						
29	7 区	1.44.0	1.39.5						
30	おやじの焼酎	1.44.5	〃						
31	22 区	1.35.0	〃						
32	N T	1.38.2	〃						
33	湯 出	1.39.2	〃						
34	21 区 男 子	1.39.6	〃						

じりじりと焼けつく様な強い日ざしの中「第25回健康づくり競り舟大会」が実施されました。11時競技開始というなかで、アクシデントも懸念されましたが、予選会より伯仲したレース展開も、数件のコースアウトで済み、他の舟の進路妨害がなければ主旨を尊重し柔軟な対応を、と指示を受ける。漕ぎ手の凄まじさに舵の指示も無視し勝手に進む、舳先をチョット押せば、と審判艇で一人呟く。汗を拭う時も惜しみ、何処の部署も走ることにしかり。招待チームで細い権のテンポ良く力漕する

## 第25回健康づくり市民競り舟大会

姿は他の選手や、応援して下さった方々の脳裏に、深く印象づけられた事でしょう。今回は高校生の参加も認められ、市民が市民の為に益々親しまれる競り舟大会へ発展して行く事でしょう。後日、大会反省会でも、人手不足の部署や器材の活用、練習艇の配分等、指摘を受けた課題の最良策が待たれる。最後に水俣市民の皆様はもとより、多彩な方面からの御支援をいただいた事に紙面を借り、心から感謝と、御礼を申し上げます。

招待の部

1位	市役所一新会	1.43.0
2位	市議会	1.45.2
3位	アトランタボイスカウト	1.50.3
4位	チャンブルズ	1.55.4
5位	水俣記者クラブ	2.01.4

# みなまた



## 頂き出したみなまたの元気! 勇壮に競り舟大会

水俣の風物詩、恒例の「競り舟大会」が8月1日、水俣川河口で勇壮に行われました。水俣の競り舟は明治の中ごろ、長崎からペーロンが伝わったのが始まりです。この日は60チーム約千人の選手が参加し、三千人を超える観客で水俣川両岸が埋まりました。カーンカーンという鉦の音に各地区の人達の声援が川面にこだましていました。優勝は男子は石坂川チーム、女子は四区チームでした。

9月になればよいよ未来国体みなまたのカヌー競技が11日から14日まで水俣湾の親水護岸特設コースで開催されます。カヌーは水俣のお家芸、市民みんなでしっかり応援しましょう。

# 第25回大会 2000年 (平成12年)

## 第25回大会成績

男子			
優勝	センコーグループ	1分24秒8	
準優勝	津奈木海龍	1分25秒0	
三位	石坂川	1分28秒3	
女子			
優勝	台湾	1分45秒4	
準優勝	4区	1分46秒1	
三位	しらとレディース	1分56秒5	



優勝した台湾女子チーム



## がんばる 第25回健康づくり市民競り船大会



8月6日、今世紀最後となる「第25回健康づくり市民競り船大会」が、水俣川河口で行われました。

参加チームは、地域、職場などから男子45チーム、女子13チームが出場。見事な権さばきで優勝を狙うチーム、権が揃わず思うようにレースができないチームなど、暑い日差しが照りつける中、熱いレースが展開されました。

男子決勝戦では、センコーグループと津奈木海龍が激しく競り合いましたが鼻一つの差でセンコーグループが逃げ切りました。女子は台湾中学生が5連覇を狙う4区女子に接戦の末、競り勝ちました。今回、台湾チームとしては、中学生が初めて参加。女子は優勝し男子も準決勝へ進むなど大活躍でした。また、九州で開催されたボイスカウト大会に訪れて



各チームへの熱心な応援、「がんばれ〜」

# 第26回大会 (平成13年) 2001年

### 第26回大会成績

男子			
優勝	南福寺	1分18秒7	
準優勝	センコーグループ	1分19秒7	
三位	ゆうひら	1分19秒9	
女子			
優勝	4区女子	1分34秒3	
準優勝	大園&深水医院選抜	1分39秒2	
三位	しらとレディース	1分42秒6	

## 競り舟、男子は南福寺が初優勝



第26回市民競り舟大会が、7月15日、水俣川河口で開催され、地域や職場などから男子39チーム、女子10チームが出場、男子の部では南福寺、女子の部は四区が優勝しました。新記録で念願の初優勝を果たした南福寺チームの浜田米司選手は「今年は権を合わせる練習に重点を置いた。これが勝利につながったのでは」とレースを振り返りました。



**レース結果**  
 男子 ①南福寺②センコー③ゆうひら④しらと  
 女子 ①4区②大園&深水医院選抜③しらとレディース④市役所女子



(第3種郵便物認可)

## 目的は交流だけ出るからには優勝だ



国際大会出場を前に、会場から見た水俣川。競り舟選手たちが練習中。

## 水俣市のペロンチーム

### 台湾国際大会に4年ぶり挑戦!!

28人の有志每晚練習

水俣市の競り舟ペロンチームが、台湾・台北の水俣市の競り舟チーム市で二十日開幕の国際ペロン大会(一九八四年)に四年ぶりに出場する。選手たちは毎晩練習を繰り返して、大会に初参加。今年は競り舟大会の優勝を目指して練習を重ねている。

水俣市の競り舟ペロンチームは、今年度のペロン大会で、競り舟チームとして、初めて出場する。選手たちは毎晩練習を繰り返して、大会に初参加。今年は競り舟大会の優勝を目指して練習を重ねている。



復活後26回目を数える競り舟大会。水しぶきを上げ、力いっぱい漕ぎ進む選手たち。水俣市

## チームメートが心一つに



\*特等席。の岸壁に腰掛け、選手たちを熱く見守る市民ら。水俣市

## 漕ぎ手集めに苦労も

競り舟が水俣川に帰ってきたのは昭和五十一年、十七年ぶりだった。思い出さずしてしまった競り舟を復活させ、まちの活性化に繋がった。無我夢中だった。当時、復活運動のけん引役となった市青年団連絡協議会の会長を務めた自営業若原雅文さん(五七)は、復活には水俣青年への願いが込められた。「復活」年目は隣町津奈木から舟を借りたが、二年目は自前でいこうと実行委を発足させ、募金活動も進めた。住民協力が、漕ぎ手も集まった。漕ぎ手は、漕ぎ手不足に悩んでいた。漕ぎ手を集めるのは、苦労だった。漕ぎ手を集めるのは、苦労だった。漕ぎ手を集めるのは、苦労だった。

# 水俣市夏の伝統行事「競り舟」 100年の歴史：地域に根付く

百年の歴史を持つ水俣市の夏の伝統行事「競り舟」。水俣病事件の影響などで一時期途絶えたが、復活して四半世紀を過ぎ、しっかりと地域に根付いている。漕ぎ手と地域に変遷はあるものの、地域や職場のチームメートが心を一つに力漕ぎする姿は不変だ。  
 (水俣支局・荒木正博)

競り舟は明治三十年ころ、長崎のペロンが伝わり始まったとされる。当初は「もま舟」と呼ばれる投網船が使われた。  
**17年の空白**  
 戦時中などを経て、脈々と続いた競り舟も、昭和三十四(一九五九)年から長く姿を消す。水俣病の発生や過疎化によるこぎ手不足、市を二分したチン安賞闘争などが背景にあった。

競り舟が水俣川に帰ってきたのは昭和五十一年、十七年ぶりだった。思い出さずしてしまった競り舟を復活させ、まちの活性化に繋がった。無我夢中だった。当時、復活運動のけん引役となった市青年団連絡協議会の会長を務めた自営業若原雅文さん(五七)は、復活には水俣青年への願いが込められた。「復活」年目は隣町津奈木から舟を借りたが、二年目は自前でいこうと実行委を発足させ、募金活動も進めた。住民協力が、漕ぎ手も集まった。漕ぎ手は、漕ぎ手不足に悩んでいた。漕ぎ手を集めるのは、苦労だった。漕ぎ手を集めるのは、苦労だった。漕ぎ手を集めるのは、苦労だった。

## 住民一体の勝利

男子決勝では南福寺が初優勝。「夢心地です」と興奮気味の中野三三監督(八七)は「練習しやすいよう、地域の人がいろいろと背を折ってくれた。差し入れなども気を使ってくれて、選手たちの奮起につながった」と、地域住民一体の勝利を強調した。

女子は、四区が予想通り五度目の優勝。「平均年齢はもう四十二歳。雨の日も毎日練習した方がいいがあった」とチーム最年長の竹下京子さん(八七)も喜ぶ。

二十年度で男女ともに地域代表チームが優勝したのは一昨年に続き二度目。一時期急増した職場チームが最近減る傾向にあるという側面もあるが、「地域では依然人集めが大変」と若原さんは話す。「地域代表チームにも若い人の姿が少しずつ増えており、いい傾向だと思う。競り舟をもっと水俣の活性化やPRに活用できないか、考えているんですが」。

現在は競り舟協合理事長の若原さんは、競り舟の未来に思いを寄せた。



埋め立て前の旧水俣川で開かれていたころの競り舟大会—大正13、14年ころ、故赤星亀尾さん撮影

# 第27回大会 (平成14年) 2002年



## ふるさとネット 修学旅行で水俣の競り舟体験

○：神戸市港島中(大垣良一校長)の3年生117人が15日、水俣市の水俣川河口で、同市伝統の競り舟を体験した。修学旅行で、鹿児島県知覧町での平和学習と合わせて、同市を訪れた。

○：生徒たちは15、16人ずつ、4隻の競り舟に分乗。市競り舟協会(岩阪雅文理事長)のメンバ―を「先生」に「こぎ手」と、こぎ手の息を合わせる「かねたたき」を務めた。「人工島にある学校で海は近いが港灣施設ばかり。遊べる所はない」(大垣校長)という生徒たちは、「揺れるー」「こわいー」と大騒ぎ。

○：今にも雨が降りそうな空に、海側に向かって強い風が吹くあいにくの天候。上流へ上手にスイスイ進む舟もあれば、河口に向け流されているのに、ぼつ然としたままの生徒も。岸に残った同中の先生たちは、やきもきしていた。

おめでとうございます  
ごさいます

## 大会結果

	男子	女子
優勝	四区	四区
準優勝	センコーグループ	台北市教育局
3位	深川	しらとレディース
敢闘賞	十九区	大園&深水医院選抜
ブービー賞	芦北地域振興局	湯之児病院女子
競り舟協会賞	四区	四区
飛び賞	16区	二十一区
	石坂川	
	台北市教育局	
	水俣湾だ一す	



熱戦が繰り広げられたレース

夏の伝統行事としてすっかり定着した市民競り舟大会が、好天の7月28日、水俣川河口300mのコースで地域や職場から48チームが出場して白熱のレースを展開しました。

コース沿いには、各チームの応援のテントが立ち並び、自分達のチームが出場する度に、応援合戦も最高潮に達しました。また、今年も、2年振りに台湾チームも参加し、大会に花を添えました。

大会結果は、四区チーム(男子、女子の部)が見事アベック優勝という快挙を成し遂げました。

# 四区アベック優勝! 第27回市民競り舟大会



女子の部で優勝した四区チームの皆さん



男子の部で優勝した四区チームの皆さん



優勝した丸島チーム



# 見せます女性パワー

## 水俣の競り舟チーム 台湾へ

水俣市の女子競り舟チームが台湾・台北市で十四日から開かれる国際ドラゴンボート大会に出場することになり連日、水俣川河口で練習を繰り返している。女子チームの出場は五年ぶり二度目。十三日に出発する。



台湾での国際大会出場を前に、練習に励む女子競り舟チーム＝水俣市

## 大会は間近 練習にも熱

水俣市の競り舟は明治後期に長崎から伝わった伝統行事。水俣病事件やチンソ争議の影響で一時期廃れていたが、一九七六(昭和五十二)年に復活。毎年七月の市民競り舟大会は夏の風物詩となっている。

台北での国際大会出場は八四年から。市民大会の優勝チームや選抜チームが九七年まで連続出場。最高で準優勝の実績がある。しかし、市が負担していた遠征費が自費になったことや、景気低迷の影響で選手が出場のための休暇を取りにくくなったことなどで途絶えた。「交流を絶やさないと」ことを目的に、昨年男子が四年ぶりに挑戦、今年が女子の遠征となった。今回のチームは昨年の市民大会女子の部を制した四区チームを中心に

た選抜メンバー。こぎ手十四人が女性で、かじ、かね、旗取りは男性でもできる。練習は五月二十一日から始まり、日曜日を除く毎日午後六時半から、市競り舟協会役員の手導で日没過ぎまで汗を流している。

主将の竹下京子さん(四九)＝明神町＝は「チームによって漕ぎのリズムが微妙に違うが、選りすぐりのメンバーだから、練習二日目から息はびつたり。出場するのも家族の応援があればこそ。サポートに恥じない成績を残していきたい」と抱負を語る。

ただ、メンバーはギリギリの状態。「パスポートさえ持っていれば出場に間に合う。われこそはと思う人は練習に来てほしい」と同協会では話している。

# 第29回大会 2004年 (平成16年)



大会2連覇をした4区女子チーム

	チーム名	タイム
優勝	4区女子	1分48秒8
準優勝	しらとレディース	1分55秒3
第3位	大園&深水病院選抜	1分56秒0
敢闘賞	22区女子	1分59秒4

## 【女子の部】



接戦を制し、優勝したしらとチーム

	チーム名	タイム
優勝	しらと	1分32秒3
準優勝	深川	1分33秒4
第3位	石坂川	1分35秒7
敢闘賞	生協水光社	1分39秒4

## 【男子の部】

8月8日、水俣川河口で第29回市民競り舟大会を開催しました。開会式では、まず最初に昨年の豪雨災害で亡くなられた人々に黙祷を捧げ、犠牲者の冥福を祈りました。今回の大会には、男子38チーム、女子8チーム、招待3チームが参加し、観客約三千人が見守る中、熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおり。

# 第29回市民競り舟大会

# 第30回大会 2005年 (平成17年)



優勝したしらとチーム



優勝したしらとレディースチーム



水しぶきを上げながら豪快な權(かい)さばきをみせる競り舟大会の選手たち  
＝水俣川河口



## 競り舟快走、豪快水しぶき

水俣川河口 3000人が観戦

水俣市の夏のスポーツイベント「市民競り舟大会」が二十四日、同市の水俣川河口であった。三十回目を迎える記念大会。両岸には三千人を超

える市民らが詰め掛け、水面を滑る競り舟に声援を送った。  
地域や職場などでつくる男子三十五チーム、女子九チームが出場。水俣高、水俣工高の職員チームと生徒チームなど招待の七チームがオープン参加した。チームは艇長一、かじ取り一、かねたたき一、漕ぎ手十四、補員五の二十二編成。  
レースはトーナメント方式で、三、四チームが三百呎の直線コースでタイムを競った。選手たち

は、練習で鍛えた息の合った權(かい)さばきで、豪快にしぶきをあげた。同じ地域から出場した「しらと」と「しらとレディース」が初のアベック優勝を飾った。  
レースに先立ち、三十回フル出場の四区、葛渡、水東、浜二区の四チームに表彰状が贈られた。  
主な成績は次の通り。  
▽男子②台北市政府消防局③四区④石坂川▽女子②四区女子③大園&深水医院選抜④二十二区女子

(東寛明)

2005年  
(平成17年)

# 30周年記念大会

## 競舟大会出場!

7月24日(日)水俣川河口にて競舟大会が行われました。過去には天候や人数の不足から参加できないこともありましたが、今年は新入社員が多数入社したことから紫水寮・泰山寮の合同チームで参加することができました。

競舟大会の参加チームは43チーム。他チームの黒く日焼けした屈強の選手たちを見て最初は萎縮していた紫水泰山寮チームでしたが、試合が始まれば若さを武器に奮闘。しかし全員が未経験者というハンディもあり、プービー賞という残念な結果になってしまいました。競舟大会終了後は紫水寮で打ち上げが行われ、競舟の疲れと試合に負けた悔しさをビールで補充しながら「来年こそは!」という新たな決意を胸に無事終了しました。選手の皆様、本当にお疲れ様でした。そして応援して下さった皆様、ご声援ありがとうございました。



チッソ広報誌より

### 【女子の部】



悲願の優勝。しらとレディースチーム

	チーム名	タイム
優勝	しらとレディース	1分45秒3
準優勝	4区女子	1分46秒3
第3位	大園&深水医院選抜	1分54秒0
敢闘賞	22区女子	1分54秒7

### 【男子の部】



見事2連覇のしらとチーム

	チーム名	タイム
優勝	しらと	1分23秒6
準優勝	台北市政府消防局	1分28秒4
第3位	四区	1分29秒4
敢闘賞	石坂川	1分32秒0

水俣市の夏の一大イベントである競り舟大会が7月24日(日)に水俣川河口で行われました。参加チームは、男子35チーム、女子9チームで、30回記念大会となる今回、30回連続出場の葛渡・水東・浜二区・4区各チームに対して、水俣市競り舟協会から表彰がありました。

また、30回記念として水俣高校、水俣工業高校の生徒チームと職員チームによる招待4チームでレースが行われ、大会を盛り上げました。さらに、台北市政府消防局と津奈木海龍チームも参加し、大会を盛り上げました。結果は次のとおりです。

## 第30回記念市民競り舟大会



水俣高校チーム



水俣工業高校チーム・保護者チーム



# 大会成績

<b>第1回大会</b>	昭和51.10.17	参加18チーム	<b>第8回大会</b>	昭和58.7.17	参加37チーム
優勝	湯 堂	2分36秒0	優勝	湯 堂	2分26秒7
準優勝	水 東	2分39秒8	準優勝	新栄合板	2分28秒3
三位	丸 木 舟	2分41秒2	三位	丸 島	2分29秒5
敢闘賞	津奈木青年団	2分38秒4	敢闘賞	消防本部	2分26秒0
<b>第2回大会</b>	昭和52.7.24	参加41チーム	<b>第9回大会</b>	昭和59.8.19	参加36チーム
優勝	湯 の 児	2分29秒2	優勝	湯 堂	2分22秒8
準優勝	湯 堂	2分30秒7	準優勝	湯 の 児	2分26秒8
三位	丸 島 親 交 会	2分30秒9	三位	丸 島 親 交 会	2分27秒2
敢闘賞	水 東	2分34秒1	敢闘賞	水 東	2分31秒8
<b>第3回大会</b>	昭和53.7.23	参加48チーム	<b>第10回大会</b>	昭和60.8.4	参加45チーム
優勝	湯 堂	2分39秒2	(男子) 500m	湯 堂	2分25秒5
準優勝	消 防 署	2分39秒6	準優勝	丸 川 島 内 区	2分31秒3
三位	湯 の 児	2分41秒2	三位	宝 川	2分34秒6
敢闘賞	深 川	2分26秒3	敢闘賞	3 区	2分35秒6
<b>第4回大会</b>	昭和54.7.29	参加54チーム	(女子) 300m	深 川 区 院 堂	1分50秒6
優勝	新栄合板	2分28秒4	優勝	3 湯 之 児 病	1分55秒0
準優勝	深 川	2分31秒4	準優勝	湯 湯 湯	1分56秒0
三位	水 東	2分33秒8	敢闘賞	湯 湯 湯	1分59秒9
敢闘賞	チソプラスチック	2分28秒0	<b>第11回大会</b>	昭和61.7.27	参加53チーム
<b>第5回大会</b>	昭和55.7.20	参加57チーム	(男子) 500m	丸 川 島 内 部 渡	2分27秒7
優勝	石 坂 川	2分29秒2	優勝	宝 川 本	2分29秒3
準優勝	湯 の 児	2分31秒0	準優勝	消 防 本	2分29秒3
三位	消 防 署	2分31秒4	三位	葛	2分34秒9
敢闘賞	深 川	2分29秒8	敢闘賞		
<b>第6回大会</b>	昭和56.7.26	参加54チーム	(女子) 300m	新 栄 合 板 区 川 会	1分48秒0
優勝	深 川	2分35秒6	優勝	2 2	1分50秒5
準優勝	丸 島	2分36秒4	準優勝	深 3 区 婦 人	1分52秒5
三位	消 防 署	2分37秒2	敢闘賞	3 区 婦 人 会	1分58秒2
敢闘賞	新栄合板	2分32秒2	<b>第12回大会</b>	昭和62.8.2	参加53チーム
<b>第7回大会</b>	昭和57.10.10	参加37チーム	(男子) 500m	湯 堂 内 区 区	2分22秒4
優勝	湯 堂	2分29秒8	優勝	宝 川	2分24秒4
準優勝	新栄合板	2分31秒9	準優勝	2 0	2分29秒4
三位	市 渡 瀬	2分33秒0	三位	3 区	2分30秒9
敢闘賞	消 防 本 部	2分33秒4	敢闘賞		
			(女子) 300m	新 栄 合 板 川 区	1分42秒2
			優勝	深 石 坂 川 区	1分42秒7
			準優勝	2 2	1分44秒8
			三位		1分46秒1
			敢闘賞		

# 大会成績

**第13回大会** 昭和63.8.2 参加61チーム

(男子) 500m

優勝	商	会	2分21秒8
準優勝	永川	内	2分22秒9
三位	栄合	板	2分27秒1
敢闘賞	新光	社	2分27秒6

(女子) 300m

優勝	台湾女子	1分34秒4
準優勝	新栄合	1分35秒6
三位	2	1分41秒6
敢闘賞	深	1分42秒0

**第14回大会** 平成元.7.23 参加60チーム

(男子) 500m

優勝	商	会	2分28秒5
準優勝	永	島	2分30秒6
三位	水光	A	2分31秒4
敢闘賞	ホ一	△ズ	2分34秒1

(女子) 300m

優勝	台湾女子	1分38秒2
準優勝	2	1分49秒0
三位	新栄合	1分49秒6
敢闘賞	深	1分50秒8

**第15回大会** 平成2.7.29 参加63チーム

(男子) 500m

優勝	渡	2分33秒1
準優勝	葛丸	2分33秒2
三位	ホ一△	2分39秒6
敢闘賞	宝川	2分42秒2

(女子) 300m

優勝	台北市教育局	1分43秒1
準優勝	新店	1分45秒9
三位	2	1分55秒8
敢闘賞	石坂川	1分59秒5

**第16回大会** 平成3.8.4 参加51チーム

(男子) 500m

優勝	隊	2分24秒7
準優勝	湯津奈	2分25秒8
三位	葛	2分26秒2
敢闘賞	渡	2分36秒5

(女子) 300m

優勝	川	1分46秒1
準優勝	深	1分46秒7
三位	台北市稻江龍舟隊	1分47秒5
敢闘賞	石坂川	1分47秒6

**第17回大会** 平成4.8.2 参加53チーム

(男子) 500m

優勝	国民	2分29秒1
準優勝	葛華	2分31秒0
三位	湯	2分33秒0
敢闘賞	水光	2分42秒0

(女子) 300m

優勝	香港	1分23秒5
準優勝	中華民	1分26秒2
三位	新栄合	1分27秒2
敢闘賞	石坂川	1分29秒2

**第18回大会** 平成5.7.25 参加50チーム

(男子) 500m

優勝	中華民國(新天市)	2分23秒5
準優勝	セソコ一	2分26秒2
三位	中華民國(警察隊)	2分27秒2
敢闘賞	湯堂	2分29秒2

(女子) 300m

優勝	中華民國(台北市)	1分41秒5
準優勝	2	1分47秒7
三位	7区女子	1分48秒4
敢闘賞	石坂川女子	1分54秒1

**第19回大会** 平成6.7.31 参加47チーム

(男子) 500m

優勝	セソコ一	2分24秒5
準優勝	湯	2分24秒7
三位	津奈木海龍市	2分25秒4
敢闘賞	台湾三重	2分27秒1

(女子) 300m

優勝	台湾台北市	1分39秒1
準優勝	4区女子	1分43秒4
三位	合板女子	1分44秒4
敢闘賞	7区女子	1分49秒0

**第20回大会** 平成7.7.30 参加47チーム

(男子) 500m

優勝	セソコ一	2分29秒7
準優勝	津奈木海龍川	2分33秒3
三位	石坂	2分34秒3
敢闘賞	新栄合板	2分36秒7

(女子) 300m

優勝	新栄合板女子	1分49秒0
準優勝	4区女子	1分49秒7
三位	7区女子	1分57秒7
敢闘賞	3区女子	2分01秒7

# 大会成績

**第21回大会** 平成 8 . 8 . 4 参加47チーム

(男子) 300m

優勝	津奈木海龍	1分25秒9
準優勝	湯 坂 川	1分29秒7
三位	石 坂 川	1分30秒3
敢闘賞	宝 川 内	1分31秒2

(女子) 300m

優勝	4区女子	1分47秒9
準優勝	新栄合板女子	1分47秒9
三位	大園&深水医院選抜	1分55秒9
敢闘賞	7区女子	1分57秒6

**第22回大会** 平成 9 . 7 . 27 参加46チーム

(男子) 300m

優勝	津奈木海龍	1分26秒3
準優勝	センコーグループ	1分29秒3
三位	ゆうひら	1分31秒4
敢闘賞	南 福 寺	1分32秒7

(女子) 300m

優勝	4区女子	1分48秒7
準優勝	新栄レディース	1分52秒5
三位	大園&深水医院選抜	1分57秒6
敢闘賞	7区女子	2分01秒0

**第23回大会** 平成 10 . 7 . 26 参加45チーム

(男子) 300m

優勝	台北市	1分38秒4
準優勝	ゆうひら	1分39秒9
三位	18区	1分42秒5
敢闘賞	センコーグループ	1分47秒7

(女子) 300m

優勝	4区女子	2分06秒7
準優勝	だれやん	2分16秒8
三位	大園&深水医院選抜	2分18秒1
敢闘賞	湯ノ児	2分36秒0

**第24回大会** 平成 11 . 8 . 1 参加46チーム

(男子) 300m

優勝	石 坂 川	1分20秒2
準優勝	新 栄 合 板	1分20秒6
三位	原 精 機	1分21秒6
敢闘賞	宝 川 内	1分22秒4

(女子) 300m

優勝	4区女子	1分36秒7
準優勝	大園&深水医院選抜	1分39秒9
三位	だれやん	1分40秒8
敢闘賞	7区女子	1分45秒8

**第25回大会** 平成 12 . 8 . 6 参加45チーム

(男子) 300m

優勝	センコーグループ	1分24秒8
準優勝	津奈木海龍	1分25秒0
三位	石 坂 川	1分28秒3
敢闘賞	新 栄 合 板	1分28秒9

(女子) 300m

優勝	台 湾	1分45秒4
準優勝	4 区	1分46秒1
三位	しらとレディース	1分56秒5
敢闘賞	7 区	2分02秒0

**第26回大会** 平成 13 . 7 . 15 参加39チーム

(男子) 300m

優勝	南 福 寺	1分18秒7
準優勝	センコーグループ	1分19秒7
三位	ゆうひら	1分19秒9
敢闘賞	し ら と	1分20秒5

(女子) 300m

優勝	4区女子	1分34秒3
準優勝	大園&深水医院選抜	1分39秒2
三位	しらとレディース	1分42秒6
敢闘賞	市役所女子	1分42秒7

**第27回大会** 平成 14 . 7 . 28 参加39チーム

(男子) 300m

優勝	4 区	1分26秒5
準優勝	センコーグループ	1分27秒6
三位	深 川	1分28秒9
敢闘賞	1 9 区	1分30秒9

(女子) 300m

優勝	4区女子	1分43秒8
準優勝	台湾市教育局	1分44秒3
三位	しらとレディース	1分47秒9
敢闘賞	大園&深水医院選抜	1分51秒5

**第28回大会** 平成 15 . 8 . 3  
水俣豪雨災害のため中止。

# 大会成績

<b>第29回大会</b> (男子) 300m 優勝 準優勝 三位 敢闘賞	平成16.8.8 しらと 深川 石坂 生協水光社	参加38チーム 1分32秒3 1分33秒4 1分35秒7 1分39秒4
--	--------------------------------------	---

(女子) 300m 優勝 準優勝 三位 敢闘賞	4区女子 しらとレディース 大園&深水医院選抜 22区女子	参加8チーム 1分48秒8 1分55秒3 1分56秒0 1分59秒4
-------------------------------------	--	--

<b>第30回大会</b> (女子) 300m (決勝) 優勝 準優勝 三位 敢闘賞	平成17.7.24 しらとレディース 4区女子 大園&深水医院選抜 22区女子	参加9チーム 1分45秒3 1分46秒3 1分54秒0 1分54秒7
--	---	--

(準決勝) 5位 6位 7位	3区女子 総合医療センター女子A 21区女子	1分54秒1 1分57秒5 1分57秒8
-------------------------	------------------------------	----------------------------

(復活) 8位 9位	水東女子 総合医療センター女子B	2分06秒8 2分16秒2
------------------	---------------------	------------------

<b>第30回大会</b> (男子) 300m (決勝) 優勝 準優勝 三位 敢闘賞	平成17.7.24 しらと 台北市政府消防局 4区 石坂川	参加35チーム 1分23秒6 1分28秒4 1分29秒4 1分32秒0
--	---	---

(準決勝) 5位 6位 7位 8位 9位 10位 11位 12位	深川 ゆうひら 南福寺 18区 16区 アクトビーリサイクリング(株) 総合医療センター男子A 22区男子	1分27秒6 1分30秒8 1分32秒4 1分34秒7 1分34秒8 1分35秒0 1分37秒1 1分37秒9
--	--	--

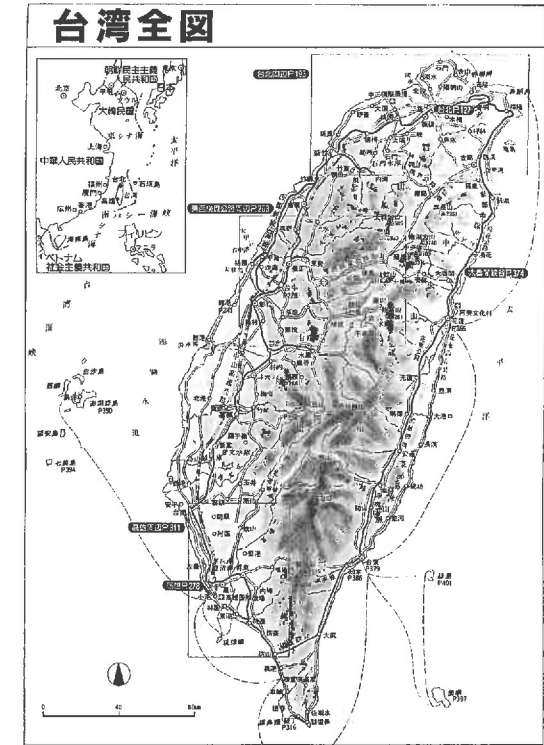
(2回戦) 13位 14位 15位 16位 17位 18位 19位 20位 21位 22位 23位	生協水光社 ふうくろ 大川 一区 水俣OB会 浜2区 3区男子 水俣湾だ一す 21区男子 水市役所	1分35秒0 1分35秒7 1分35秒9 1分37秒2 1分37秒8 1分38秒3 1分41秒4 1分43秒6 1分44秒8 1分47秒4 1分47秒8
--	--	--

(敗者復活戦) 24位 25位 26位 27位 28位 29位 30位 31位 32位 33位 34位 35位	20区 19区 市渡瀬 水俣市社会福祉事業団 7区男子 大園中央商店会 湯出 水俣ポリス 総合医療センター男子B 水俣第一小学校 チッソ紫水素山寮 葛渡	1分35秒3 1分38秒7 1分41秒0 1分46秒6 1分47秒1 1分47秒7 1分48秒0 1分50秒9 1分54秒0 1分57秒8 2分08秒7 失格
---	---	--

# 台湾との交流の歩み

台湾国際ドラゴンボート大会から20年  
1984年(昭和59年)～2005年(平成17年)

## 交流のアルバム



2000年8月6日 台湾女子チーム

## 台湾との交流の歩み No.1

大会	西 暦	元号	事 業 (台湾→水俣)	事 業 (水俣→台湾)	遠征団長	備 考
9	1984	昭和 59		・台湾国際ドラゴンボート選手団	前川太助	6月
10	85	60		〃	園村 昇	6月
11	86	61		〃	石田 勝	6月
12	87	62		〃	小松聡明	5月
13	88	63	・台北市政府教育局龍舟隊(男子) ・台北市四季潜水遊泳会龍舟隊(女子)	〃	淵上英明	6月 7月
14	89	平成 1	・呉文達会長水俣市にドラゴンボート模型を寄贈 ・台湾宜蘭県龍舟隊(男子) ・台北市四季潜水遊泳会龍舟隊(女子)	・台湾国際ドラゴンボート選手団	寺本 巧	5月 7月
	90	2	・永和市龍舟隊(男子) ・台北市四季潜水遊泳会龍舟隊(女子) ・呉文達会長台湾ドラゴンボート2艇寄贈	・台湾国際ドラゴンボート選手団	淵上英明	5月 8月 10月
16	91	3		・台湾国際ドラゴンボート選手団 ・水俣市バドミントン女子選手団	溝口時雄	11月
17	92	4	・香港成人教育康楽中心龍舟隊	・台湾国際ドラゴンボート選手団	寺本 巧	6月
18	93	5	・台北市政府警察龍舟隊(男子) ・新店市中央遊泳会龍舟隊(男子) ・台北市政府教育局龍舟隊(女子)	・台湾国際ドラゴンボート選手団	山内健治	5月 7月
19	94	6	・呉文達ご夫妻来水 ・台北市小学生18名ホームステイ ・袋小・中学校訪問	・台湾国際ドラゴンボート選手団	有村司郎	6月 7月 9月

## 台湾との交流の歩み No.2

大会	西 暦	元号	事 業 (台湾→水俣)	事 業 (水俣→台湾)	遠征団長	備 考
20	95	平成 7		・台湾国際ドラゴンボート選手団	岩阪雅文	6月
21	96	8	・台北市体育文化協会	・袋小学校・中学校生徒23名台湾へホームステイ ・吉井市長・商工会議所会頭・台北市体育 ・文化協会設立総会出席 ・第25回モーニングバドミントンチャンピオンシップ ・水俣市マミーコーラス合唱団 ・水俣市ゲートボール選手団		7月 5月 8月・有村助役夫妻同行 田村耕紀競り舟協会会長同行
22	97	9	・台北市体育文化協会マスターズ卓球チーム	・台湾国際ドラゴンボート選手団	島本康藤	6月
23	98	10	・台北市政府教育局(男子) ・台北市明德高校(女子) ・台北市明德国民小学校 綱引きチャンピオン ・台北市丹鳳国民小学校 綱引きチャンピオン	・台湾国慶節訪問団		
24	99	11	・呉文達会長吉井市長表敬訪問			11月・人吉市クラフトパーク見学
25	2000	12		・台湾中部地震見舞(体育文化協会訪問)		5月
26	1	13		・台湾国際ドラゴンボート選手団 ・競り舟協会応援団	井手原義一	6月
27	2	14	・台北市政府教育局(女子) ・呉文達ご夫妻来水	・台湾国際ドラゴンボート女子選手団 ・水俣市役所バドミントン部選手団	井手原義一	6月 8月
28	3	15		・競り舟協会台北市体育文化協会表敬訪問		
29	4	16	・台北市体育文化協会 ・台北市政府消防局	・江口水俣市長台北市体育文化協会表敬訪問 ・水俣棒踊り保存会		7月 11月・台湾観光年フィステバル
30	5	17	・台北市体育文化協会	・競り舟協会台北市体育文化協会表敬訪問 ・水俣古里研究会がめん塾台北市体育文化協会 表敬訪問		6月 11月

# 競り舟台湾へ 国際大会で第3位入賞



力走をする水俣市チーム(対香港チーム戦)



女子のレースに参加する女子高校生



三位入賞を果たした水俣選手団

## 初めての海外遠征へ!

### 初の海外遠征へ

六月一日、午前五時水俣を出発、満員のバスにトランク……前回の海外遠征とあって、身の引きしまる思いで、福岡空港へ。手続きを済ませて、10時30分福岡空港を飛び立つ。11時30分台北に着くと、体育関係者の歓迎をうけ、待ちうけたバスにてホテルへ直行。午後二時ホテルに着くと、食事をすませ、畳屋割りを行なった後、早速練習である。淡水河がその場所、ホテルから歩いて十分ほどの所にあり、台北市を二分する形で流れている。河幅は、水俣川の四倍くらいであろうか。

練習中、カイが川底に触れるところもあり、あまり深さはないようである。河水は濁りきっており、身体にかかると匂いが残る。軽い練習の後、ホテルで休憩する。

六月二日、初の海外試合である。六時半起床、七時食事、試合は十時半というところで、八時半より一時間の練習をする。ところが、急に気象状態が悪化し、開始時間が延びる。一たんホテルに引きあげ、中食をすませて再び会場へ。

我々日本チームは、午後一時半のスタートとなる。

### オーストラリアに敗退

いよいよ、第一回戦のスタート。トレーニングも十分に、ボートに乗り込む。相手は優勝候補のオーストラリアチームである。練習十分とはいったものの、相手チームの体格を見ると、まさに大男である。それに加えて河の流れも少々気になる。ヨイイ夕と同時にスタートを切った。数カ月ぶりの試合に満身の力を込めて河面を進む。腕や顔に水しぶきが飛び散る。ボートはしばらくリードを保っていたが、ゴールが近くなるにつれて、追いつかれ、果ては逆にリードされて、一艇身の差で一敗。すぐにスタート地点へもどり、二レース目である。しかし、結果は同じであった。

### 国際色豊かな開会式

六月四日、七時起床、昨夜九時頃から降り出した雨は、夜通し降り続き、死者二十数名を出すほどの水害となった。十時半、大会中止が知らされ、明日へともちこされた。

六月四日、昨日と違ってかわっての好天気、花火の音と共に、式典が開始された。風船が一勢に放たれ、空高く舞い上がる。音楽が流れると、水上に設けられた舞台では、歌や踊りが披露される。式典は30分余りで終り、試合会場へと最初のチームが、スタート地点へ移動する。

まずは、女子チームからである。カラフルなユニホームに、十六才二十才ぐらいの男性にもおとらないハツツとした雰囲気の出場チームは、機関(公務員)・男・女、軍隊・憲兵・警察・行政、男・女、社会(一般)・男・女、大専(大学)・男・女、高・中、男・女、国際、男・女、表・演(オープン)となっている。賞は、八位までが入賞である。他の精神・規律・服装の各賞がある。大会期間は三、四日間である。

やがて正午をむかえようとする頃、観客も数万人に達している。年に一度の国家的行事とはいえ、その力の入れ具合には、驚きの目を見張るばかりであった。国の威信をもかけた伝統行事としてであった。



身障者のレースも行われます

### 力つきて第三位

試合は、午前十時、敗者復活戦・第一試合が始まる。初日で涙をのんだ「水俣勢」にとっては、この一戦にかかっている。相手は「香港志雄」だ。スターターの合図で、全員が無心に力一杯漕いだ。ついに勝った。初勝利である。しかも、八秒もの差であった。正に快勝だ。初日の反省も加わって、この一勝は、大きな勇気をもたらした。

第二戦は「中華語文」、第三戦は「香港漁民公社」、第四戦は、オーストラリアの「カンガルー」と、順調に勝進んだところで、午後四時を回る。

いよいよ、準決勝である。しかし、六時間に四試合を戦い抜き、精根尽きた思いであった。相手チームは、今日二試合目と、相手にとって不足はなし!! スタートと共に、死にもごるいで漕ぐ。みるみるうちに三百mを過ぎる。一レースは半艇身の差で負けた。二レース目は、勝った。合計タイムで、日本は二分三十六秒、香港は二分三十四秒と、二秒差で敗退であった。しかし、総合で、国際組三位という初出場にしては、まあまあ

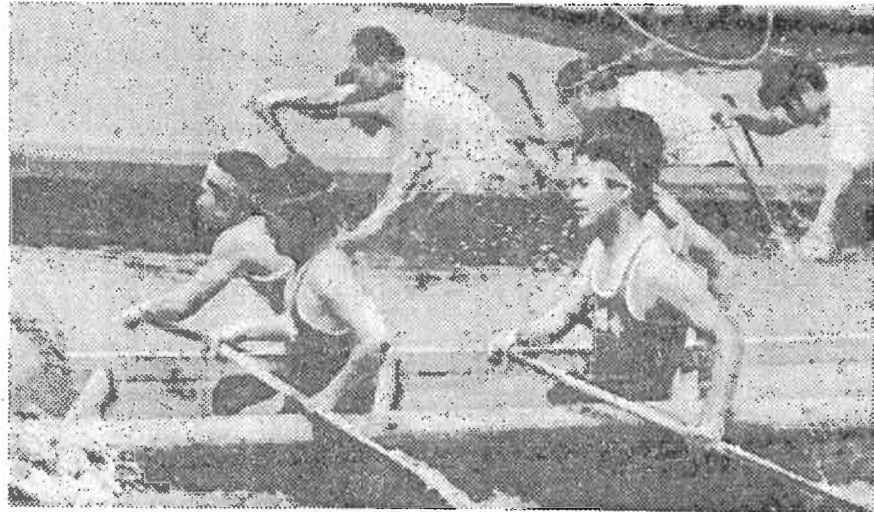
あの結果ではなかったろうか。足取りも軽く、会場をあとに午後七時からの国際チーム全てを招待してのレセプションが開かれたので、全員参加。その中で、はからずも、日本チームに「精神賞」が与えられた。

五日は観光を楽しみ、六月四日、午後二時三十分、選手一人一人が「水俣セリ舟」への新しい模案を胸に帰路についた。(筆 岩阪雅文)



# 水俣の競り舟、台湾遠征

——ドラゴンボート大会——



台湾遠征する競り舟（昨夏の市民競り舟大会から）

水俣市の競り舟チームが日本代表として来月開かれる台湾ドラゴンボート大会に参加することが決まり、選手たちは十六日夕から湯堂湾で練習を始めた。同市にとっては初の国際遠征。選手たちは「舟の大きさや距離などのハードはあるが、せっかく招待されて出場するのだから、勝って水俣の名を広めたい」と張り切っている。

同ボート大会は来月三、四日、台北市であり、同市などの主催。二十五人乗りで約七十チームが参加。距離は三百メートル。国をあげて応援する熱狂的な大会だという。東南アジアからも参加があって国際色豊か。今月はじめ同市体育会から正式に招待状が水俣市に届いた。

水俣市は「今後の励みにもなる」として旅費などを補助する。

選手らは混成チームでもあり、今月二十九日まで練習を繰り返して、来月一日出発する。

## 湯堂チーム軸に選手団結成 来月 出発



華やかな開会式



台北市淡水河



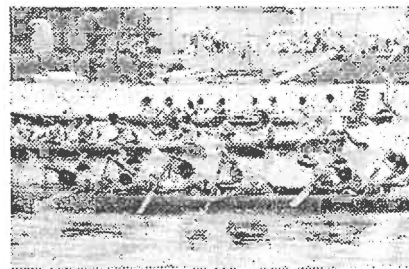
現在は基隆河(キールン)河口、後方は九山大飯店



今も、20年前と変らぬ活気がみなぎる

### 招かれ台湾・台北市へ

ドラゴンボート大会 水俣のせり舟チーム出場



昨年の水俣川でのせり舟大会

水俣市のせり舟(ペーロン)チームが、台湾・台北市の淡水河で六月三、四日開かれる「ドラゴンボート大会」に招かれて出場する。

同大会は正式には中華民国中正杯龍舟錦標賽大会と呼ばれ、

台湾国内をはじめ近隣諸国から七十チーム参加するにぎやかな催しで日本国内からの参加は、水俣チームが初めて、水俣せり舟も初の外国選征。

同大会で使う舟は長さ約十三メートル、水俣せり舟とほぼ同じ。距離も三百メートル短いが、選手二十五人(二ギ手二十二人と水俣の十七人同十四人)より多い。このため昨年、一昨年のせり舟大会優勝の湯堂チームを中心に選優秀の新米合戦チームを加え、二十六人で「水俣チーム」を結成。団長の前川太助市長経済部長ら市職員などを加えて総勢三十一人が六月一日出発。現地の舟に慣れるため二日間ほど練習したあと大会に臨む予定。選手の出発費は主催者負担で、航空運賃十二万八千円のうち九万五千円が補助する。

水俣のせり舟は明治末ごろから水俣川で開かれていたもので、長崎ペーロンが源流といわれている。水俣病事件な前後のチームが参加してにぎわっている。当時の呼び掛け人で今回の湯堂チームのメンバーでもある岩阪雅文さん(左)「向市袋」は「この海外選征を契機に、せり舟の地域での盛り上がりをもっとほかりたい」と張り切っている。



青鉛筆 熊本興水 市の夏祭り なる、十六日、特訓を始め

青鉛筆 熊本興水 市の夏祭り なる、十六日、特訓を始め

# 競り舟、ドラゴンボートに挑む

水俣・湯堂チームを中心に26選手



ゴール目指して力漕する水俣の競り舟 (昨年の大会で)

## 来月台北で国際試合

水俣の名物「競り舟」(ペーロン)が来月三、四日台北市で開催される「台湾ドラゴンボート大会」に日本代表として「日台親善」役立ちたいと

出場することになった。もちろん初めての海外試合で、選手らは「優勝して水俣をPRしたい」と張りきっており、十六日から一回の開催で國を挙げての名物行事になっている。先月、日本通運を通じて参加要請があり、このほど正式に決まった。日本からの出場は今回が初めてで、水俣チームだけが参加する。

チームは水俣市民競り舟大会で一昨年、昨年と連覇している湯堂チームを中心に二十二人の選手で構成する。選手代表の同市袋 鮎魚(あゆま)監督が、湯堂で猛練習を始めているが、距離が三百メートル、水俣での大会より二百メートル短く、船の造りが違うことなどハンディもある、という。

なほ現地には前川太助市長、済部長を団長に選手ら総勢三十一人が向かう。滞在費用は

いことしの水俣大会で三連覇を狙う」と話している。水俣市の競り舟大会は長崎ペーロンの流れをくみ明治時代から一時中断し五十一年に復活している。毎年、七月の港まつりの前後に水俣川河口で繰り広げられ、昨年は地域職場から三十八チームが参加した。真夏の暑さを吹き飛ばす勇壮さが売り物で、市民の楽しみになっている。

台北市の負担で、交通費の一部を水俣市が補助することにしている。来月一日、水俣を出発し六日に帰国の予定。チームのマネージャー格の坂雅文(さかみやふみ)同市袋は「今回の出場をきっかけに市度はやそからチームを招待できるような態勢をつくりたい。また水俣の大会そのものも気軽に参加できるように工夫してみたい。欲を言えば台北での大会で優勝し、その勢



1989年(平成元年) 選手団 (今は亡き本田選手・前列から左2番目・4番目友田副団長)



1997年(平成9年) 丸島チーム中心とした女子選手団

# 交流の輪は広がり続く!

おこが  
水俣

台北の小、中学生が水俣でホームステイ

## 漢字で筆談も弾む

袋小などを訪問 1泊2日の交流深める

台湾・台北市の小中学生の訪日親善グループ「台北市体育文化協会訪問団」(呉文達団長)が二十、二十一日に水俣市を訪れた。訪問団は二十一人の児童、生徒と引率の学校長ら三十四人。一泊二日の滞在で、市民との交流を楽しんだ。

長崎の観光を終えて水俣に到着した一行は、袋小学校を訪問。児童と一緒に給食を食べた後、昼休みの運動場で縄とびなどを遊んだ。夕方からの歓迎レセプションでは、ホームステイ



披露する台湾の小中学生



台湾の子供たち(右の2人)を迎える水俣のホスト・ファミリー

イ先の十三組の家族と少し緊張した笑顔で対面。お互いに片言で「ニイハオ」「どうも」お互いさま本語で礼を述べていた。

早速、漢字を並べた筆談で話が弾んだ。その後の夕食パーティーには吉井市長なども出席。台湾の民族衣装を着た子供たちが踊りや歌を披露して、親善ムードは最高潮に達した。

初めて日本を訪れた台湾の子供たちは「水俣の人は親切で、自然も美しい」と大喜び。通訳を務めた呉団長は「多くの市民にお招きいただき、ありがとうございます」と、流ちょうな日本語で礼を述べていた。

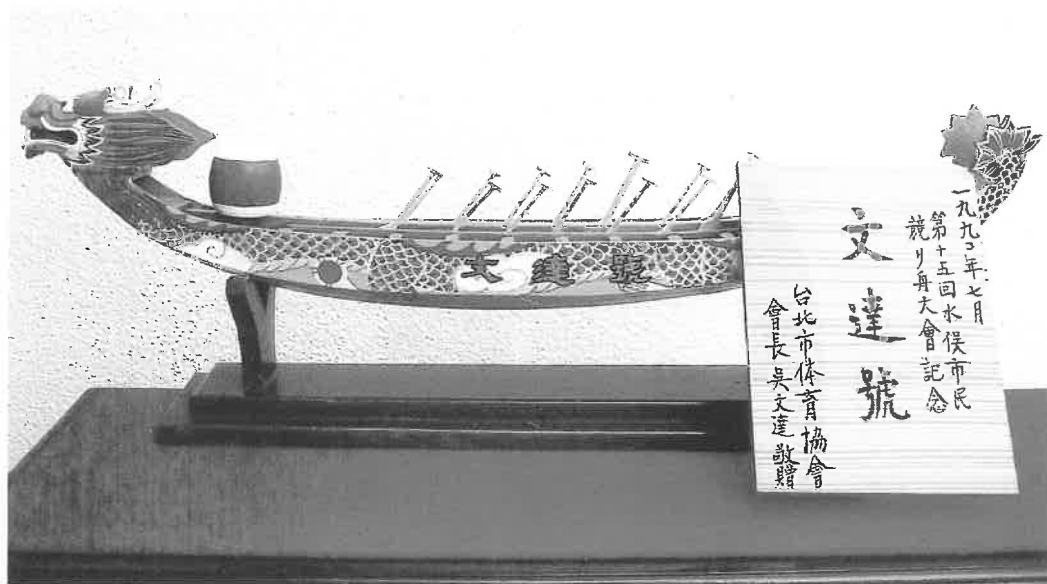
1995年(平成7年) 34人来水ホームステイ 交流を深める



名誉会長  
呉文達夫妻



高玉順会長(左)  
故原商工会議所  
会頭と(1997年.11)



1989年(平成元年)水俣市にドラゴンボート2艇を寄贈



1989年(平成元年)台湾全國四季潜水遊泳會より友好の証



1994年(平成6年)吉井市長と表敬訪問



2002年(平成14年)台北市基隆河大会で市旗を掲げる女子選手団

# 1986年(昭和61年) 活躍報じる台湾の新聞(水俣市チーム3位)

日五初月五年寅丙曆農

報 生 民

三期星

日一十月六年五十七國民華中



## ! 渡競浪破舟龍・促急鼓鑼上岸

### 賽杯念紀年百正中 開展中聲呼歡在昨



(攝明壽楊 者記報本) 笑大懷開員隊啦啦的隊洲澳③。濺四花浪，飛翹槳快②。勝得開旗，握在旗標①

中華女籃返國  
獲頒體育獎章

日本職棒巨人隊  
看上呂明賜郭進興

行政院新聞局出版事業登記局版台報字第〇〇三號

# 民生報

MIN SHENG PAO

蘭效王 人行發  
號玖貳零叁第

號五五五段四路東孝忠市台北：址地

總機	7 6 8 1 2 3 4
電話	7 6 0 1 6 1 6
訂報	7 6 6 3 1 5 9
廣告	7 6 6 2 1 7 6
編輯	7 6 8 6 6 8 4
讀者服務	7 6 4 5 3 0 0

號43-79市台北台箱郵2161號掛報電

**中美火腿食品系列**

- 貴妃火腿
- 玫瑰火腿
- 里肌火腿
- 三明治火腿
- 黑皇烤香腸
- 黑胡椒火腿
- 訂婚火腿
- 熱狗

中美火腿食品工業股份有限公司  
台北市吉林路24號  
☎ 02-551-2666, 551-3888

【本報訊】中正百年紀念杯龍舟賽，昨天在淡水河二號水門龍山河濱公園外水域點燃戰火，首日比賽爆出冷門，實力堅強的大安區隊，把想領銜的松山區隊打入了敗部。

昨天開幕典禮，由大會會長、前副總統謝東閔主持，謝副總統在致詞時表示，台灣就像一艘龍舟，全國同胞必須同心協力，同舟共濟，才能突破重重難關。開幕典禮隨後即進行第一天八十八場比賽。

大會競賽組昨天開會決定，修正有關兩週比賽互有勝負時判定名次的比賽辦法。原先在互有勝負時，以單週最高成績一隊獲勝，修正後為互有勝負時，以總和成績判定名次，如果總和成績相同，則以單週最高成績決定。

昨天比賽先後有三隊賽艇，行政院組木柵區隊、社會男子組德記洋行隊和西門子隊，因為連續兩場比賽棄權，已經退到淘汰。

昨天的比賽，只有國際組香港水上活動中心和香港業文與體育會兩隊實力相當，兩隊比賽兩隊的總和成績相差百分之八以外，其餘各場比賽都呈一面倒的局面。

這次比賽，大會新增設的「報捷台」，昨天在每場比賽賽艇後，鑼鼓喧天，龍山河道公園內的觀眾和選手，則在比賽採時，不時為各隊打氣加油，氣氛相當熱鬧；龍舟上選手在出發後，則隨著有韻律的鼓聲，埋頭划槳，獲勝的隊伍賽後發出高興的歡呼，落敗隊伍則顯現失意表情，形成強烈的對比。

國際組去年冠軍袋熊隊，昨天單週划出一分二十四秒七一的成績，是昨天比賽各隊中單週最佳成績。

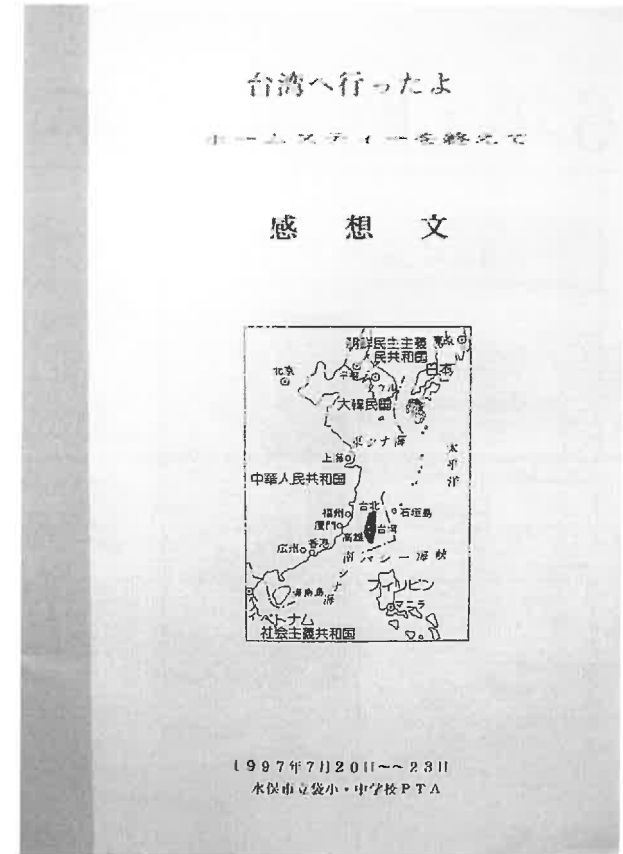
昨天比賽進行非常順利，大會水上安全和環境維護工作都做得非常徹底，唯一美中不足的是，大會競賽組計時工作，在大安區對松山區，北投區體育會對開南校友的兩場比賽，竟然登記錯誤，幸好紀錄組及時發現，而未引起不愉快的紛爭。

這項比賽今天仍將在原地進行最後一天的賽程，全部比賽預定在下午四時結束，隨即頒獎閉幕。

(版北文見) 多別特動活文藝天今 聚雅節詩 展畫陽端



2004年(平成14年)江口市長一行台北市体育文化協会表敬訪問



「台湾へ行ったよ」感想文



1989年(平成元年)水俣市バドミントン協会・水俣市ゲートボール協会



1996年(平成8年7月)袋小・中学生2泊3日のホームステイ

1999年(平成11年)

水俣市市政50周年

水俣市訪問団

# 慶祝

日本水俣市市政成立五十週年  
台北市體育文化協會致賀團



主辦：台北市體育文化協會

日期：1999年11月3日



團長 吳文達  
WU WEN-TA



團長 吳蔡秀珍  
夫人 WU TSAI  
HSIU-CHEN



余 季 佈  
YU JIH-BUH



陳 玉 美  
CHEN YU-MEI



高 玉 順  
KAU YUH-SHUEN



高 柯 麗 玉  
KAU KO LI-YU



董 明 東  
TENG MING-DOONG



吳 雨 泉  
WU YU-CHUAN



吳 黃 麗 蓮  
WU HUANG  
LI-LIEN



周 得 福  
CHOU TE-FU



周 蔡 玉 霜  
CHOU TSAI YU-  
SHUANG



郭 素 芬  
KUO SU-FENG



張 欽 生  
CHANG CHIN-  
SHENG



鄭 嫦 娥  
CHENG CHANG-O



# 水俣との交流を支えて下さる会員の方々 (前ページに続く)



賴 聯 旺  
LAI LIAN-WONG



周 泰 興  
CHOU TAI-HSIN



周 謝 月 霞  
CHOU HSIEH  
YUE-HSIA



吳 淑 貞  
WU SHU-CHEN



吳 聲 名  
WU SHEN-MING



吳 鍾 紅 梅  
WU CHUNG-  
HUNG-MEI



葉 林 環  
YEH LIN-HAWN



王 葉 美 代 子  
WANG YEH MEI  
DAI TEU



謝 慶 宗  
HSIEH CHING-  
TSUNG



謝 張 金 菊  
HSIEH CHANG  
CHIN-CHU



黃 春 卿  
HUANG CHUEN-  
CHIN



胡 得 矩  
HU DEH-CHU



曾 碧 吟  
TSENG PI-YIN



游 鄭 瑞  
YU CHENG JUI



林 金  
LIN CHING



沈 介 圭  
SHEN CHIEH-  
KUEI



沈 柯 昭 治  
SHEN KO CHAO-  
CHIH



陳 昭 美  
CHEN CHAO-MEI



黃 瑞 祺  
HUANG JUI-  
CHYI



黃 蔡 惠 蘭  
HUANG TSAI  
HUI-LAN



廖 周 碧 雲  
LIAO CHOU PI-  
YUN

1986年  
(昭和61年)

日一十月六年五十七國民華中



楊 武 雄  
YANG WU-  
HSUNG



陳 素 美  
CHEN SU-MEI



2005.11.12  
體育文化協會の方々と



行政區組雙團區以區公所職員組成，雖然遭到淘汰，但是勇氣可嘉。(本報記者 楊廷明攝)

### ！外意 敗落招過區山松 ！猛兇「渡關代二第」投北

●松山區體育隊可以說是今年龍舟賽中優勢最明顯的隊伍，昨天已將過關兩隊，選手們大相徑庭，展現到比賽的最高潮。統統獲勝。

北投區體育隊則身負無名之望，他們自四十七年開始，連續舉辦廿一次本市中環龍舟賽。六十八年的時候，為了讓其他隊伍也有「出頭」的機會，於是二十年來，這一支隊伍四個年頭，今年再次出版，並成為焦點。

早期的龍舟隊是混編，如知如常，與港籍手攪了，賽後自然歸而歸港籍，現在老一輩退休了，今年是關渡「第二」代出陣，老隊員成為後指導員，他們導授新手的技巧，讓龍舟隊得到好意，因此北投隊比賽的第一個龍舟隊，昨天一戰全勝，至於能否奪得第一的冠軍，則全看今天的臨場表現了。(記者 賴家訓)

**四季游泳隊上岸有場呢**

●四季游泳隊參加加東省游泳比賽，男男上下場比賽，女女場在依區區，選手上岸岸上相繼的湧出，看得他選手互擊口水。

**日本水俣來者不善**

●日本水俣隊這次來台參加龍舟賽的志勢，在必須，中午休息時間隊員本隊隊員跑步練習，一吸一喝土氣十足，有「來者不善」的模樣。他們說，成績一定比去年好，他們去年是國際組的「冠軍」，就是說今年非冠軍不可。

**南門泳隊划槳也有一手**

●南門區中男女游泳隊等隊，準備備專車，頭頭樂樂，選手們可一發一，馬去前頭，在龍舟賽期間，龍舟隊員的體力，可以說一發一發，龍舟隊的訓練，隊員們也爭氣表現優秀，此後南門區中不只要游泳隊出名，龍舟隊也大出風頭呢！(記者)



日本の水俣は侮れない。

日本の水俣市から今回参加したペーロン(せり舟)チームは、やる気に満ちている、昼休みの時間に島本康藤隊長率いてランニング練習を行った。掛け声高く土気はみなぎり(来るものは油断ならない)という様子である。

去年よりきつといい結果になるだろうと彼らは言う。

去年は国際チームの準優勝である。今年は優勝しなければ、というわけである。

# 水俣市競り舟協会会則

(名称)

第1条 この会は水俣市競り舟協会と称する。

(目的)

第2条 この会は水俣の伝統ある競り舟を保存、育成し、その振興をはかると共に、体育文化の向上と観光の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 この会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 競り舟関係団体相互の連絡、協調に関すること
- (2) 競り舟の保存育成に関すること
- (3) 競り舟の普及に関すること
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業に関すること

(組織)

第4条 この会は本会の主旨に賛同する水俣市内の競り舟関係団体及び愛好者をもって組織する。

(役員の数)

第5条 この会に次の役員をおく。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名以内
- (3) 理事長 1名
- (4) 理事 若干名
- (5) 監事 2名以内

(役員を選任)

第6条 会長及び副会長は理事会において選任し、総会の承認を受ける。

- 2 理事長は理事の互選により選出し会務を執行する。
- 3 理事及び監事は総会において選出する。
- 4 役員に選出された者が、その選出母体の役職を離れたときは、本会の役員を辞任したものとみなし、その後任者が継承する。

(役員任期)

第7条 役員任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

- 2 役員が欠けた場合における補充役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第8条 会長は会務を掌理し、この会を代表する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 理事はこの会の運営にあたる。
- 4 監事は本会の会計を監査して、総会で監査報告をする。

(顧問)

第9条 この会に顧問をおくことができる。

- 2 顧問は会長が理事会に諮ってこれを委嘱する。

(会議)

第10条 会議は総会及び理事会とし、総会は会長が理事会は理事長が召集する。

- 2 会議は定数の1/2の出席で成立する。議決は出席者の過半数で決し、可否同数の時は議長が決する。
- 3 総会は毎年1回開催し、必要に応じて臨時総会を開催することができる。
- 4 理事会は必要に応じて開催する。

(会計)

第11条 この会の経費は会費、補助金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

- 2 会費は別に定める。
- 3 この会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第12条 この会の事務局を理事長が定める所におく。

第13条 この会の運営に必要な事項は理事会において決する。

付 則

この会則は昭和59年10月16日より施行する。

## 平成16年、17年水俣市競り舟協会役員名簿

〒	役職	氏名	住所	連絡先	備考
0013	会長	山下和彦	長野町9-9	63-4583	
0057	副会長	島本康藤	祇園町1-3	62-0227	
0034	理事長	岩阪雅文	袋793	63-1766	
0021	理事	石田勝	平町2-4-12	62-1771	
0002	同(1中)	小島寛	初野614-2	62-5653	水東・深川・22区 1区・浜2区・7区 3区・4区・19区
0013	同(1中)	山内次男	長野町14-6	62-4452	
0057	同(2中)	島本康藤	祇園町1-3	62-0027	
0021	同(3中)	淵崎憲治	平町2-3-5	62-0658	5区・大園・南福寺 16区・20区・21区
0042	同(3中)	山下善伸	大園町3-6-32	63-5695	
0034	同(袋)	井手原義一	袋1403-39	63-8209	湯堂・ふくろ・18区 しらと・湯出 葛渡・市渡瀬・石坂川 宝川内・大川・越小場
0174	同(東部) 職域・同好会	石坂川敏文	石坂川585-2	67-1869	
0066	同(水光社)	山野貢司	古賀町1-1-1(水光社)	63-2121	
0053	同(センコー)	椎原真也	野口町1-1(センコー)	63-4144	
0005	同(水俣OB会)	森田繁敏	牧ノ内10-35	63-7159	
0034	同(学)	坂本幸則	袋770-1	63-2030	
0013	監事	元田好彦	長野町18-8	63-0815	
0034	事務局	坂本幸則	袋770-1	63-2030	
	水俣市体育協会 理事	島本康藤	評議員	坂本幸則	



競り舟の歴史は続く

# 水俣市民競り舟大会復活30周年記念誌

## 編集委員



山下和彦会長



島本康藤副会長



岩阪雅文理事長



井手原義一理事



山野貢司理事



坂本幸則理事・事務局



元田好彦理事



山内次男理事



森田繁敏理事



石田勝理事



渕崎憲治理事



山下義伸理事



小島寛理事

## 編集後記

競り舟協会設立20年の活動は、まず台湾への海外遠征の窓口としてスタート、競り舟大会の隆盛と同時に、県内外への競り舟選手団の派遣、援助と「水俣の競り舟」の名を大いに知らしめてきました。鹿児島県の根占町、出水市、天草郡松島町、御所浦町は水俣市の「競り舟」がその出発点になっています。その他遠征先として、天草郡苓北町、津奈木町、鹿児島県菱刈町、鶴田町等々その活躍は現在も続いています。

このように協会として、選手の育成、普及等々役割は大いに果たしてきました。しかし近年、競り舟に対する各チームの意識の差も見られ、協会の活動も当初に比べ多少衰退気味です。

水俣の伝統的生活文化として、今後も皆様のご理解、ご協力を頂き継続した活動ができることを願っています。

本30周年記念誌がその一助になれば幸いです。

男子 第41回大会  
優勝



女子 第11回・12回  
20回大会  
優勝

## 環境にやさしく時代を先取りする

再生可能な針葉樹を活用

地震台風に強い構造用合板

地元産材の活用で郷土に貢献

### 新栄合板工業(株)



水俣市袋赤岸海50  
TEL 0966-63-2441  
E-mail info@shin-ei-style.co.jp

—くらしをもっと便利に もっと快適に—  
**合資会社 野口 建材 店**

〒867 熊本県水俣市栄町1丁目1番8号  
TEL (0966) 63-1165 (代)  
FAX (0966) 63-1140

## 祝 水俣市民競り舟大会復活30周年



各チームの健闘を祈ります!

**山内 次男**  
水俣市長野町14-6  
☎ 62-4452

整備 保証 安心 の  
サービスネットワーク

スバルパワーショップ店・車検ローン・中古車販売

## 有限会社 共立オートサービス

TEL 63-1766 FAX 62-2745

フラワースタンプ加盟店 **健康に奉仕する** 日専連加盟店

# 肥前屋スポーツ店

駐車場完備 水俣市旭町商店街 ☎(0966)63-2303

# フレッシュ Kカモン

有限会社 カマ

〒867-0049  
熊本県水俣市百間町2丁目3番30号  
TEL(0966)62-0005 FAX(0966)62-0006  
E-mail:f.kamon@minos.ocn.ne.jp

湯の児のレストラン

# 松の家

熊本県水俣市湯の児温泉  
TEL0966-63-5141  
FAX0966-63-9131

# (有)緒方しろあり

水俣市大園町3-2-25  
☎(0966)62-3012



第13回~14回 連続優勝!



YOSHINAGA SHOKAI

# 株式会社 吉永商会

本社 / 熊本県水俣市月浦54-110  
TEL0966-63-6272 FAX0966-62-1156  
芦北支店 / 芦北郡芦北町豊岡222-3 ☆浄化槽保守点検・清掃・設備  
TEL・FAX0966-86-1980  
リサイクルセンター / 芦北郡芦北町古石431 ☆有機系廃棄物リサイクル(生ゴミ等)  
TEL0966-86-2111 FAX0966-86-1100

## 祝競り舟復活30周年



# FUKUDA WINERY

### 湯の児スペイン村・福田農場

水俣市湯の児台地 ☎0966(63)3900  
FAX0966(63)0088

●商品のご注文は、電話、ファックス、ホームページでも承ります。  
ご注文用電話(通話料無料) インターネットでお求め  
☎0120(80)2900 <http://www.fukuda-farm.co.jp>  
ご注文用専用FAX(通話料無料)  
☎0120(71)5500

祝 水俣市民競り舟大会復活30周年  
競り舟大会の益々の発展を期待します!

東福寺檀家総代会会長  
諏訪神社総代会会長  
7区老人クラブ楽友会会長

**山下和彦**  
水俣市長野町9-9 ☎63-4583

建設業許可(般)・消防設備保守協会会員  
消防設備工事・保守点検・消防機材一式  
消火器・薬剤入替・各種標識

有限 **郡山防災** 会社  
代表取締役 永田義治  
〒867-0011 水俣市陣内1丁目12番7号  
TEL(0966)-63-6170  
FAX(0966)-63-6180

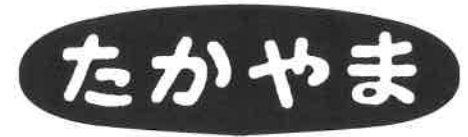
有限会社  
**藤野物産**  
代表取締役 藤野三郎  
水俣市袋608番地



祝 水俣市民競り舟大会  
国際交流の先駆けと、水俣市の活性化に  
尚、一層の発展を期待します!

**宮本満明**  
水俣市桜井町1-1-12

不思議の国のインターネット  
OA・事務・文具・教育・理化機器・画材



〒867-0045 ☎63-3755  
水俣市桜井町3-4-25 FAX62-0033

肥料・農薬・農業資材・LPガス・ガス器具・ボイラー

**マルヤマ株式会社**  
〒867-0034 熊本県水俣市袋426の2番地  
TEL 63-3222

TOSHIHIRO  
SECURITY  
GUARD

# 株式会社 トシヒロ

警備事業部

交通誘導警備

常駐警備

安心・安全を  
お届けします

- 工場：建築現場・工事現場における  
歩行者、通行車両の誘導
- 公共施設 ●ホテル
- 病院 ●デパート
- イベント：駐車場警備・会場の巡回
- スーパーマーケット等

熊本県水俣市汐見町1-5-23

TEL (0966) 63-0779・63-0899(直) FAX(0966) 63-0907

## 安心とやすらぎ 特別養護老人ホーム 白梅荘



《関連事業》  
白梅荘短期入所生活介護事業所  
白梅荘訪問介護事業所  
白梅荘通所介護事業所  
水俣市在宅介護支援センター白梅荘  
白梅荘在宅介護支援事業所

熊本県水俣市浜4089番地

TEL (0966) 63-4715  
FAX (0966) 63-4716

白梅保育園  
熊本県水俣市大園町2丁目21番地  
TEL/FAX (0966) 62-4250

清香保育園  
熊本県水俣市大園町3丁目6-18  
TEL (0966) 63-1870 FAX (0966) 63-4185

書籍・雑誌・教科書  
学校教材・ヤマハ音楽英語教室

## 宮崎一心堂

水俣市中央商店街

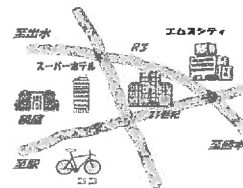
☎(代)63-5128 FAX63-2170

(ブックシティ一心堂)

☎(代)68-9268 FAX68-9269

## 自転車とバイクの専門店

ちやりんこや  
まつだりんぎよう



旭町商店街(鶴屋前)

(TEL)63-2433

祝 水俣市民競り舟大会復活30周年



生活協同組合

# 水光社

TEL 63-2121

一般廃棄物収集運搬  
浄化槽の保守・点検・清掃

# 南部環境株式会社

水俣市月浦367-1 TEL 63-6144  
TEL 63-6152  
FAX 63-6153

美しいカラー印刷 ASUNARO コンピュータ製版

## 株式会社 あすなる印刷

<http://www.print-asunaro.co.jp>

■有限会社 水俣あすなる印刷

〒867-0035 水俣市月浦22-2  
☎0966-63-5147 FAX0966-61-1253

■有限会社 鹿児島あすなる印刷

〒890-0041 鹿児島市城西2-2-36  
☎099-250-7033 FAX099-250-7018

■株式会社 あすなる印刷

〒899-0216 出水市大野原町1982  
☎0996-62-2034 FAX0996-64-1063

〒895-2507 大口市大田1635  
☎0995-22-5238 FAX0995-22-5638



葬儀一式・霊柩車・花輪・仏壇・燈籠・生花

# (株) いけだ心善社

(株)セルモ水俣、出水

事務所：大黒町1-1-8(水光社前) ☎(代)62-2824  
FAX 62-0244

花と緑の

# (有)花心 (生花・造花)

港町1-3-22 TEL・FAX 62-4181

プロパンガス 住宅設備工事



# 水俣燃料(有)

●本社/熊本県水俣市長野町530番-1  
☎(代)63-5151 / ☎0120-17-5151  
FAX 63-6654

2F

# ナイトシアター メトロ

TEL.0966-63-7604

1F

# クラブ モナミ

TEL.0966-62-2626

各種会合の二次会等にどうぞ。ご予算もお気軽にご相談ください。

